

令和5年度生涯学習センター事業実施報告書

生涯学習課

目次

中央生涯学習センター	1
東生涯学習センター	3
西生涯学習センター	5
南生涯学習センター	7
北生涯学習センター	9
平石生涯学習センター	11
清原生涯学習センター	13
横川生涯学習センター	15
瑞穂野生涯学習センター	17
城山生涯学習センター	19
国本生涯学習センター	21
富屋生涯学習センター	23
豊郷生涯学習センター	25
篠井生涯学習センター	27
姿川生涯学習センター	29
雀宮生涯学習センター	31
上河内生涯学習センター	33
河内生涯学習センター	35

令和5年度 中央生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。

(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、多様化する市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、誰もが学び活躍できるための社会を考える契機となるよう講座の充実につとめ、「学び人」の支援を行う。

(イ) 親子・親同士・子ども同士の交流を促進するとともに、子育て中の親と、社会を支える多世代との交流を深める場を提供することで、家庭・地域の教育力の向上を図る。

(ウ) 地域大学や専門学校、ボランティアスタッフと、専門知識や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目標による生涯学習の推進に努める。

(エ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通じて、まちづくり活動を担う人材を育成し、その育成や活用を努める。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、〔Vスタッフ〕：Vスタッフ企画運営講座、〔CKP〕：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針	
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への活用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	9～2月	2回	【実施日】 令和 6 年 9 月 6 日 ～ 令和 6 年 2 月 16 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 36 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 スマホ講座の受講者の幅広い周知と、公共予約システムとの併せた活用を進めていく。 【次年度の方向性】 公共施設利用システムの利用者が今後さらに増えることにより、スマホなどデジタル技術を活用した講座の必要性があることから、新規にデジタル機器への使用や利用技術の向上を目指した講座を開催する。
	◎金曜まなび塾	行政等が実施する活動や施策についての学習に加え、市民の生活課題になっている事柄や社会情勢の変化に対応した内容の拡充、企業等と連携した講座を企画する。また中央生涯学習センターの立地を活かし、地域の伝統・文化・モノづくり・人づくりを学習のことで、受講生の知識・識見の向上につなげる。児童の学習意欲の向上に資する事業の推進	市内在住・在勤の一般成人	7～12月	10回	【実施日】 令和 5 年 7 月 14 日 ～ 令和 5 年 12 月 1 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 207 人 0 人 60代	【今年度の実施状況】 「知られざる・刻ってほしい宇都宮の魅力」を中心に据えて構成した学習講座であり、参加者からは、概ね好評であった。 【次年度の方向性】 成人向けの当センター看板講座であり、毎年定員を超える応募がある。R4年度のアンケート集計結果から当市が推進している宇都宮の特徴を中心に、宇都宮中心街にある当センターの立地を活かした地域の話題も盛り込みながら継続して開催する。また、新型コロナウイルス感染症から類へ移行したことから、当年度中に徐々に定員の拡充をはかるほか、昨年同様、午後の貸館に合わせて正午までには完全に敷し、円滑に運営するよう努める。
	地域連携特別講座	ICTの活用も図りながら、多様化する地域課題の解決や情報共有の機会をさらに輪を広げ、学校や企業・NPOなどと連携できる企画をする。	市内在住・在勤の一般成人	3月	1回	【実施日】 令和 6 年 3 月 5 日 ～ 令和 6 年 3 月 5 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 20 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 地域の共通した課題に焦点を当て、コミセンや地域住民と一緒に学ぶ機会を再度設けるとともにまちづくり活動の関わりや協力などを、担い手不足などの地域課題について具体的な実施方法を学ぶため、地域教育と学校教育に携わっている方からコミュニティを学ぶ。 【次年度の方向性】 ZOOMなどのオンライン技術を継続して活用し、地域との連携と情報交換の場として学習機会を提供していく。
	修造館アカデミー〔Vスタッフ〕	人材かがやきセンターに登録しているVスタッフに活動の場を提供し、市民目標での講座の企画を行う。内容については、多様化する市民ニーズに対応するための企画を充実させる。	市内在住・在勤の成人	6月	4回	【実施日】 令和 5 年 6 月 7 日 ～ 令和 5 年 6 月 28 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 79 人 0 人 60、70	【今年度の実施状況】 Vスタッフによる企画立案及び運営を基本としていたが、今年度の企画内容は、Vスタッフによる運営が難しいことから、センター職員が大人講座をテーマに再構築し、実施した。（与謝野無村を中心としたテーマを予定していたが、松屋岳英や小倉百人一首などのテーマに再構築した。）充実した講師陣であったことから、参加者からも概ね好評であった。 【次年度の方向性】 次年度の企画については、速やかに精査及び確認を行い、対応する。また、単一のテーマでも対応可能な講座であることから、常に腹案をもって対応し、継続して開催する。
	いきいきシニアアップ講座	人生100年時代を迎え、より良い豊かなセカンドライフを送るよう、学びあう人の輪の構築に努める。超高齢社会に受講生が生きがいを保ちながら生活するための素材・素地として、健康づくりや趣味・教養に幅広く興味を持つ学習機会を提供する。	市内在住の65歳以上の一般成人	2～3月	5回	【実施日】 令和 6 年 2 月 7 日 ～ 令和 6 年 3 月 6 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 150 人 0 人 70代	【今年度の実施状況】 本年の当講座は伝統と現代を繋ぎ交ぜた構成とした。 【次年度の方向性】 高齢者に寄り添うデジタル技術を活用した講座を展開し、また同世代の生涯学習の活動と講座を結び付け生涯学習への参加を促す。
名作・名画鑑賞会	郷土に関わる題材や社会の関心の高い課題を捉えた作品を邦展・上映することで、当センターを利用したことのない幅広い市民に足を運んでもらえるきっかけづくりとする。	市内在住者	廃止	廃止	【実施日】 令和 - 年 - 月 - 日 ～ 令和 - 年 - 月 - 日 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 - 人 - 人 - 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 -	【今年度の実施状況】 参加者数が少ないことや、市民が動画配信サービス等、スマホを利用して映画を鑑賞する機会が増えていることから、スマホの基本操作を学ぶ機会の提供を目的に、スマホ基礎講座に統合した。 【次年度の方向性】 左記のとおり、廃止とする。	
育の家庭の教育推進	子育て広場	子育て世代の悩みやニーズを捉えた講座を実施するため、子育て相談員の配置や、親子同士の交流の場を拡充し、気軽に情報が得られる環境を整え、家庭教育の問題解決や支援に繋げる。また、ICTの活用も取り入れる企画を提案し、在宅でも気軽に受講できる機会をつくる。月に1度講座を開催して「おはなひろば」の周知を促すと同時に、年齢層に合う読書の機会を設ける。	乳幼児（0～6歳）とその保護者	5～11月	5回	【実施日】 令和 5 年 5 月 17 日 ～ 令和 5 年 11 月 15 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 宇都宮ビジネス電子専門学校 幼児保育ビジネス科 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 216 人 108 人 30代	【今年度の実施状況】 音楽教室や、フィットネス協会などから、受講生の満足度が高い講師を依頼したことで、より充実した内容で開催することが出来た。今年度は身体を動かす講座が少なかったことから、来年度はバランスを考慮し、様々な内容を組み立て、実施する。 【次年度の方向性】 一定数のニーズがあったことや、孤立しがちな未就学児保護者のコミュニティの形成の一助となることから、今後も継続して開催する。
	パパもママもはくはく子育て	子育て情報交換の場の提供。父親に参加してもらい、母親の育児ストレス軽減やリフレッシュできるような機会を提供するプログラムとなるよう、更なる内容の充実を図る。	乳幼児（0～6歳）とその保護者	6～12月	2回	【実施日】 令和 5 年 6 月 18 日 ～ 令和 5 年 12 月 3 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 宇都宮ビジネス電子専門学校 幼児保育ビジネス科 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 121 人 50 人 30代	【今年度の実施状況】 前半プログラムは、機材搬入等大がかりな準備が必要なことから、前日からの部屋の確保や、講師との密な連絡調整など、事前準備にかを入れ、円滑に実施することができた。後半プログラムは、父親と子どもがリトミック、母親が別室でリラックスを実施したが、母親向けの講座の受付を1人で行ったことから、身動きが取れなくなり、気配りが欠けました。講座開始時だけでも補助者についてもらい、父親向けの講座の担当者や連絡を取れるようにしておくことが必要ことから、今後は対応していく。 【次年度の方向性】 父親が参加することで、母親の育児ストレスの軽減やリフレッシュする機会を提供していくため、今後も継続して開催する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
携②・家庭協力教育た支援育の活動実と推学進や地域と連	◎親と子のワークショップ体験講座	子どもたちの社会性の向上や生きる力の実践スキルを養うため、日常生活で体験できない内容や体験の機会を盛り込むとともに、参加者同士の交流の更なる促進を図り、親子の絆を深めていくよう努める。 また、親室室と連携し、本への関心を持つきっかけとなるよう、資料や情報の提供を要する。	市内在住の小学生とその保護者	7～8月	5回	【実施日】 令和5年7月8日 ～ 令和5年8月19日			【今年度の実施状況】 昨年度はアウトドアワーク等が好評だったことから、今年度も同じ講師を内容を変えて依頼し、参加者からの満足度が高かった。参加人数が少なくなりましたが、「タップダン」など新しい企画も取り入れるなど、内容を工夫して実施した。		【次年度の方針性】 当センター唯一の小学生の親子向け講座であり、夏休み期間を利用した家庭教育の場や、普段家庭では出来ない体験を提供する必要があるため、継続して開催する。	
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組みの団体の活動や学校と地域との交流事業などの支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	【実施日】 令和5年度活動事例 児童の登下校時の見守り活動や地域環境点検への支援・協力を行った。			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組みの団体の活動支援を行った。		【次年度の方針性】 地域に根ざした活力ある教育力向上に取り組みの団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	地域応援講座	地域の持つ魅力や人材を探すきっかけづくりに関連する企画や、地域の課題解決や活性化に資する内容を取り入れることで、地域づくりの醸成に繋げる。また、国際交流の理解に繋げられる出前講座や地域企業と連携した講座を企画する。	各地域在住者	5～2月	各地域2回	【実施日】 令和5年5月19日 ～ 令和6年2月5日			【今年度の実施状況】 地域の持つ魅力や人材を探すきっかけづくりに関連する企画や、地域の課題解決や活性化に資する内容を取り入れることで、地域づくりの醸成に繋げた。今後は、国際交流の理解に繋げられる出前講座や地域企業と連携した講座を企画する。		【次年度の方針性】 身近に感じ、取り組みやすい身近な話題をテーマとする事で参加しやすい講座が開講でき、満足度の高い学習となった。引き続き、地域の特性等を活かしながら、地域住民自らの講座企画に努める。	
	西原地域講座【CKP】	地域内の魅力的な資源の掘り起こしや、歴史についての学び、地域が抱える課題の気づきや解決をめざし、地域住民自らの学びの場として開催する。	地域在住の成人	10月	1回	【実施日】 令和5年10月18日 ～ 令和5年10月18日			【今年度の実施状況】 参加者については予定していた人数より少ない参加者だったため、今後は広報を早めに進め、より多くの参加者を募るよう努める。		【次年度の方針性】 地域資源の掘り起こしや、地域課題解決など、地域との共生を今後も続けていくため、地域での講座として考慮しながら、継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 一条・旭中学校において、会場を変更した。参加者からは高評価であったが、これまでと違い、会場が広いことによる不具合が生じたことから、今後は、レイアウトを見直す必要がある。		【次年度の方針性】 各中学校会場への誘導対応者の配置や人数増の確保をすることで、スムーズな会場内を実現する。
④持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤	中央生涯学習センター文化祭	中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者だけでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。	中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症が明けたことにより、制限の無い文化祭を実施したことで、参加者・来場者同士の交流が深まった。		【次年度の方針性】 まちかど広場（ワークショップや音楽演奏など、まちなかのくつろぎスペースとしての空間）も活用した文化祭を実施することで、参加者・来場者の双方が交流するとともに、学習成果を発表するなど、活動の場を提供していく。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供した。			【今年度の実施状況】 ・生涯学習センター内に設置の掲示板上に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行ったほか、生涯学習サークル団体に、活動成果の発表の場を提供した。		【次年度の方針性】 当センターにおける民間学習事業者のチラシやポスターの掲示など、生涯学習情報の提供や、当センターで活動する生涯学習サークル団体や地域団体の活動成果の発表の場としての無料展示スペースの提供、PRの定期的な更新などを今後も継続して実施し、市民ニーズに的確に対応していく。	
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件） 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 職員間い合わせ			【今年度の実施状況】 意欲促進に繋がるサークル団体の紹介やマンパシの積極的な周知など、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。		【次年度の方針性】 今後も継続して、相談者への登録団体の学習活動やマンパシの団体更新情報の周知など、行動意欲に繋がる情報提供や発信を積極的に行うことで、相談者のニーズに適切に対応し、学習相談や悩みの解決を支援していく。		
令和5年度講座実績数内訳												
区分		事業数				参加者数						
		講座数	実施回数									
成人対象事業	2	講座	15	回	510		人					
シニア対象事業	5	講座	22	回	495		人					
青少年対象事業	1	講座	5	回	125		人					
子育て対象事業	2	講座	7	回	337		人					
計	10	講座	49	回	1,467		人					

区分	事業数		参加者数	
	講座数	実施回数	人数	人
成人対象事業	2	15	510	人
シニア対象事業	5	22	495	人
青少年対象事業	1	5	125	人
子育て対象事業	2	7	337	人
計	10	49	1,467	人

令和5年度 東生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
東部地区における生涯学習の拠点として地域住民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元する。 (ア) 複雑かつ多様化する社会環境や市民ニーズに対応するため、地域住民が生活課題の解決や学ぶ楽しさを実感できるような魅力ある事業を展開する。 (イ) 子育て世代を支援するため、学校や地域と連携しながら、親同士の交流機会の充実や、仲間づくりのネットワークが構築できるような事業を推進する。 (ウ) 市民の学んだ成果を活動につなげるため、地域の各種団体やボランティア団体等と積極的に連携しながら、市民が地域で活動する機会や場の提供を行い、地域力の向上を目指す事業を推進する。	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	8～2月	2回	【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和6年2月5日	【連携実績】 連携団体数 - 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -	【参加者数】 合計 8人 うち子ども -人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 スマホの基礎操作を学ぶことができ、高齢者などからの需要はあるが、みんなでまちづくり課主導の事業であることから、年間を通して周知などの取り組みを実施できるよう、連絡調整を行っていく。	【次年度の方針】 市民ニーズや講座を主導しているみんなでまちづくり課の意向を確認しながら事業を進めていく。
	ふれあい塾【Vスタッフ】	様々な課題についてグループワークを行いながら考えるとともに、受講生同士の交流を深める。	市内在住・通勤の20歳以上の方	5～12月	8回	【実施日】 令和5年5月16日 ～ 令和5年12月19日	【連携実績】 連携団体数 - 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -	【参加者数】 合計 493人 うち子ども 0人 主な世代 50～90	【今年度の実施状況】 面白実験教室、大谷石の文化、打楽器体験など、幅広い分野の教養を身に付ける内容としたが、グループ形式となるよう会場設営を行ったほか、講義・体験型学習の回をできる限り取り入れるなど、変化をつけるよう工夫して実施した。	【次年度の方針】 成人が幅広い分野の教養を身につけ、豊かな人生を送るために開設する。従来行われていた「聞く・見る学習の場」から「聞く・考える・話し合う学習の場」を目指し、継続して開催する。
	東雲塾	高齢者が年齢にふさわしい社会的能力を高め、明るく健康で充実した生活を送るため、知識・健康・レクリエーション等の学習を行う。	市内在住・通勤の65歳以上の方	6～1月	6回	【実施日】 令和5年6月2日 ～ 令和6年1月19日	【連携実績】 連携団体数 - 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -	【参加者数】 合計 185人 うち子ども 0人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 自己肯定感やウォーキングなど、様々な分野の内容を実施した。コロナ禍から日常が戻り、高齢者にとって、生きがいづくり、仲間づくり、知識を得る場として、今年度も人気の講座であったことから、今後もなるべく多くの新規の応募者を受け入れていく。	【次年度の方針】 孤立する高齢者が顕在化していることから、その人間関係を構築できる講座として継続して開催する。
	★おとなの学び講座	現在を生き抜く中で起こっているさまざまな課題を取り上げ、それらの課題を掘り下げて理解する中で、解決するための考え方やノウハウを学んでいく。	市内在住・通勤の18歳以上の方	11月	2回	【実施日】 令和5年11月18日 ～ 令和5年11月25日	【連携実績】 連携団体数 2 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 まちびア	【参加者数】 合計 29人 うち子ども 0人 主な世代 50代	【今年度の実施状況】 世相を反映したさまざまな地域の問題を学ぶ新規講座として開催した。今年度は『子どもの居場所』に地域でどう寄り添うか学び、講座の内容としては参加者の満足度が高い講座となったが、少人数に苦戦したことから、次年度の周知の仕方を検討する。	【次年度の方針】 地域の課題を深く学ぶ講座として定着させていくことを目指しているため、継続して開催する。
	働き世代の土曜講座	仕事や子育てで忙しい世代を対象に、現役の課題や自己実現に取り組み活躍している人を講師として講話やワークショップなどを行い、これからの生き方や働き方について一度立ち止まって考える機会を提供する。	市内在住の18～おおむね55歳くらいまでの方	2月	2回	【実施日】 令和6年2月10日 ～ 令和6年2月24日	【連携実績】 連携団体数 - 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -	【参加者数】 合計 29人 うち子ども -人 主な世代 40代	【今年度の実施状況】 働き世代が仕事や子育てに忙しく暮らしている中でこれからの自分を考えた時に健康の大切さに気付く。運動を通して健康の大切さを見直すきっかけ作りになった。また、実技を通して生活に取り入れることが出来ると好評だった。	【次年度の方針】 社会人が生き方や働き方を考え直す講座であるため継続とする。日時については連休中の開催を控え、次年度からは金曜夜間の開催とする。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	親子でDoing	様々な体験を通して、親子の絆を深める。地域人材の協力を得て地域教育力の向上を目指す。	市内在住の小3、4年生とその保護者	7月	3回	【実施日】 令和5年7月1日 ～ 令和5年7月29日	【連携実績】 連携団体数 - 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -	【参加者数】 合計 112人 うち子ども 56人 主な世代 40代	【今年度の実施状況】 コロナ禍以前の募集人数に戻したことから、賑やかな講座となった。親子ともに広いホールで思い切り身体を動かして、普段できない体験ができたため、満足したとの声が多く、参加者からは好評だった。	【次年度の方針】 親子のスキンシップや親同士の交流など、家庭教育を支援する講座であるため継続とする。
	すくすく子育て講座	季節の行事や体操・音楽鑑賞などを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育てるとともに、子育てについての知識や技術を学び、健やかな子育てができるよう支援する。また、参加者同士の交流をはかり仲間づくりを促す。	乳幼児・児童と保護者	5～12月	9回	【実施日】 令和5年5月11日 ～ 令和5年12月16日	【連携実績】 連携団体数 - 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 -	【参加者数】 合計 415人 うち子ども 206人 主な世代 30～40	【今年度の実施状況】 コロナ禍以前の募集人数に戻したことから、賑やかな講座となった。親子ともに広いホールで思い切り身体を動かして、普段できない体験ができたことや、講座後に豪華な昼食を備えながら受講生同士の交流ができる距離も復活させ、参加者同士の新しいつながりを生かすことができたことから、参加者からは満足したとの声が多く、好評だった。課題としては、外で遊べない梅雨～猛暑期の講座をもっと増やしてほしいとの声があることから、来年度は開催時期の検討が必要である。	【次年度の方針】 親子のスキンシップや親同士の交流など家庭教育を支援する講座であるため継続とする。
	◎子ども国際理解サマースクール	参加型の活動を通して、「協力・相互理解」などの力を養う。また、外国人と身近に接し、異文化に触れることにより、外国に目を向けるきっかけや国際理解の推進を図る。	市内在住の小4～6年生	8月	3回	【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和5年8月3日	【連携実績】 連携団体数 2 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 国際交流フアラ、宇田国際学部国際文化公認講座センターIANDS	【参加者数】 合計 108人 うち子ども 108人 主な世代 10代	【今年度の実施状況】 何の規制もない久しぶりの夏休みに、参加者同士が、3日間、広い空間で友達と交流しながら、世界の国について学ぶことができた。参加者にいろいろな世界を学んでもらうため、多くの国の講師から学ぶ機会を構築したいと考えているが、日本語を話すことができる講師選定が難しいことから、検討していく。	【次年度の方針】 国際理解の分野のサマースクールは長年の実績があるほか、認知もされており、要望が高いことから、継続して開催する。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動を支援する。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度活動事例 魅力ある学校づくり地域協議会などの地域団体のパンフレットやチラシを情報提供し、活動の周知を行った。	【参加者数】 合計 108人 うち子ども 108人 主な世代 10代	【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会などの地域団体のパンフレットやチラシを情報提供し、活動の周知を行った。	【次年度の方針】 地域に根ざす多活ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを拾いながら支援していく。		

重点項目	事業名	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針									
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価					今後の方針				
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	地域の宝、世界の宝 旅する画家 夫 松本哲男を語る	地域と連携し、美術への造形を深め、居住する地域への誇りや愛着を持ち、地域の一員としての意識を醸成する。	市内在住で通勤通学している方	1月	1回	【実施日】 令和 6 年 1 月 21 日 ～ 令和 6 年 1 月 21 日 【連携実績】 連携団体数 2 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 8地区まちづくり推進協議会、宇都宮美術館 【参加者数】 合計 150人 うち子ども 0人 主な世代 70代	【今年度の実施状況】 地域が誇る歴史や文化、芸術を改めて再評価し共有する機会を得ることや、地域全体で文化を守り継承する意識を醸成することができた。	【次年度の方針性】 講座として連続性を持たせることは難しいものの、東生涯学習センター管轄エリア内で活躍した個人や団体に伝えるべき文化、芸術などを定期的に取り上げ再評価することで、地域が誇る歴史や文化、伝統を大切に継承する意識付けを生生涯学習を通じて取り組む必要性があるため、継続して開催する。								
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つことができるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	【今年度の実施状況】 地域の実施委員と連携調整を密に図ることで、問題なくスムーズに実施する事が出来た。	【次年度の方針性】 今年度同様の形で行う。継続して実施委員等と連携を図り、新成人（二十歳）が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。									
④盤持の統一的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の	東生涯学習センター文化祭	東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。	東生涯学習センター登録団体及び一般（地域住民）	10月	1回	【今年度の実施状況】 コロナ禍前の状態での開催を行うことができた。4年ぶりの完全開催で、多くの来場者もあったほか、生涯学習団体が、日頃の活動を発表する事ができ、満足との声が多く聞かれた。	【次年度の方針性】 今後も継続して、今年度同様の形で行い、生涯学習団体の発表の場を提供するとともに、地域と連携し参加団体を増やしていく。									
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	【今年度の実施状況】 主催講座や文化祭のチラシを、所管8地区コミセンと地域の8小学校へ配架依頼し、地域への回覧も行った。	【次年度の方針性】 ・今後も引き続き、研修等に参加し生涯学習に関する情報を収集し、市民のニーズに対応していく。 ・今後も、生涯学習センター内に、チラシやポスターを掲示し情報を提供していく。									
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。	【次年度の方針性】 今後も引き続き、相談者の立場に立ち、相談内容への的確、迅速な対応を心がけていく。										

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数	
	講座数	実施回数			
成人対象事業	3	講座	5	回	208人
シニア対象事業	3	講座	17	回	733人
青少年対象事業	1	講座	3	回	103人
子育て対象事業	2	講座	12	回	541人
計	9	講座	37	回	1,590人

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	桜・うつのみやをやる講座(宇都宮はなぜ交通の要衝として栄えたのか)【CKP】	宇都宮の歴史のなかで、自分たちの住むまちがどのような役割を果たしたのか、どのように変容してきたかを知ることで、地域への理解を一段深め、愛着心を高めることで、まちづくりのさらなる推進を図る。	桜地域住民	10～11月	4回	【実施日】 令和5年10月24日 ～ 令和5年12月5日			【今年度の実施状況】 参加者の満足度は高く適切に実施できているが、参加者が高齢者に偏っていることから、年齢層を広げるよう、実施方法を検討する。		【次年度の方向性】 地域の歴史を振り返ることで、参加者の満足度も高く、地域づくりに対する意識醸成等を効果的に推進できることから、参加者の年齢層を広げることにも配慮しながら、継続して開催する。	
	持続可能なまちづくり【CKP】	明保地区の地域資源(郷情文化や企業)を学ぶことにより、地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	明保地域住民	11～3月	1回	【実施日】 令和5年11月30日 ～ 令和6年3月17日			【今年度の実施状況】 公共交通を利用して館外学習を行う際に、交通利便カードの利便性やNOCについて周知することができ、明保地区地域内交通と併せて考える機会を持つことができた。また、定期的に行っている、健康づくり推進員活動のウォーキングに、地域を回るきっかけとなる、ガイド案内を取り入れたことにより、地域への愛着や知識を習得することへの関心の向上につながった。		【次年度の方向性】 地域の問題点を情報収集し、活動者とともに、課題解決に沿った講座を継続して開催することにより、今後のまちづくり活動に対し、意識の向上を図る。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域の人とともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを伝えることにより、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 28人	実施委員会 実施回数 1回	各地域の取り組み 成人(二十歳)が自分たちの郷愁で地域交流事業を企画し、地域の実施委員とともに運営したが、コロナ禍は過ぎたが、今回も急のため、懇談会及び地域特性を活かした事業はしなかった。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、感染症対策を講じる必要は無くなったが、成人(二十歳)代表打合せをリモートにしたほか、連絡方法にLINEを取り入れるなど、実施委員会や会場と密な調整を行うことで、より迅速な運営を行うことが出来た。		【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と密な連絡調整を図り、より円滑かつ効率的な運営を行う。	
④持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤の強化	西生涯学習センター文化祭	西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	西生涯学習センター利用者及び一般市民	10月	1回	出展団体数 22団体	のべ来場者数 -人	特色 作品展示を長期開催することにより、センター来館者(図書利用者・部会員出者等)に幅広く披露することができた。	【今年度の実施状況】 センターロビーにて、サークル団体ごとに2週間程度の作品展示を行ったほか、サークル発表や模擬店等、生涯学習団体が日頃の活動を成果する場を提供した。		【次年度の方向性】 今後も継続して、サークルの発表の場を提供するとともに、地域と協力しながら事業を企画する。	
	クールシェア・コンサート	近隣地区の住民を対象に、夏季に公共施設で涼しさを分け合いながら演奏会を開催する。演奏会を通して、より多くの地域住民に生涯学習への関心を持ってもらう機会とする。	主に桜・富士見・明保地区内の市民	7月	1回	【実施日】 令和5年7月8日 ～ 令和5年7月8日			【今年度の実施状況】 対象者を地域の方から市内内へと広げ、音楽鑑賞による教養の向上と国産理解、多文化共生の両面で成果が見られた。 講師の先生がとても魅力的であったことや、チラシの効果もあり、申込も定員を大きく上回った。満足度もほぼ100%であり、参加者から好評であったことから、来年度も同様に開催する。		【次年度の方向性】 参加者に好評で、来年度の開催を希望する声が多く聞かれたことから、継続して開催する。	
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・生涯学習センター内に設置している掲示板へ、チラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 ・生涯学習サークル団体に、主催講座の講師等を依頼し、活動成果の発表の場を提供した。			【今年度の実施状況】 ・情報の共有化を図り、活動している生涯学習団体に講師の依頼をするが、なかなか都合や、条件が合わないこともある、更なる情報共有や、迅速な判断が必要。		【次年度の方向性】 ・今後も継続して、生涯学習センター内にチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。 ・今後も継続して、主催講座の講師等を依頼し、生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場を提供する。	
学習相談	相談者のニーズに応じて具体的な学習活動へつなげるとともに、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決に向けた支援などを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件) 来館 17 電話 13 FAX 0 Eメール 0 その他 0 合計 30 簡易問い合わせ 16			【今年度の実施状況】 相談者の要望に対して迅速な対応をするように心がけたが、まだ十分ではなかったことから、更に相談しやすい環境づくりに努めていく。		【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じて具体的な学習活動へつなげるとともに、相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決に向けた支援などを行う。		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数		参加者数	
	講座数	実施回数	講座	人
成人対象事業				
シニア対象事業	7	26	454	人
青少年対象事業	1	6	186	人
子育て対象事業	2	11	206	人
計	10	43	846	人

令和5年度 南生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針									
「令和5年度生涯学習センター事業計画の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや地域及び全市的な課題に前じた学習支援をすることと、地域の学習情報拠点として地域団体等と連携し情報の発信や地域で活躍できる人材の育成を図る。 (ア) 地域の特性や課題及び社会的に高い課題に前じた学習支援を行い、積極的に地域まちづくり活動に参加する人材の育成に取り組む。 (イ) 増加する高齢者の健康を保持する生きがい創出につながる講座や、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かな生活設計のための講座など、幅広い世代を対象に多様な学習の提供を図る。 (ウ) 地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支え、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。									
★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【GKP】：地域ががやきプロジェクト									
重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びタブレット機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住、在住のスマホ初心者	9月	2回	【実施日】 令和5年9月4日 令和6年2月19日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 17人 主世代 70代	【今年度の実施状況】 1回目の開催日については、大雨・避難警報発令と重なり、欠席者も多かったが、マンツーマンで教えてもらったことから、参加者からの満足度は高かった。	【次年度の方針】 市民ニーズや講座を主導しているみんなでもっとの意欲を確認しながら事業を進めていく。	
	◎シニアセミナー高窓塾	シニア世代の受講者が、学びを通して交流を交り、教養を深めることで、充実した日々を送る手助けをする。	市内在住、通勤の60歳以上の人	6月	6回	【実施日】 令和5年6月9日 令和5年12月1日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 1人 主世代 70代	【今年度の実施状況】 刀剣やよさこい、介護など、様々な内容を実施し、受講者は毎回講座を楽しみに学んでいるが、個人の内容の関心度により出席率が変動する印象がある。シニア世代が受講したいと思えるような楽しい講座企画に努めていく。	【次年度の方針】 シニア世代が学びをおして交流を交り、充実した日々を送る手助けとなる講座を実施するため、継続して開催する。	
	暮らし彩り講座～セカンドライフに向けて～	人生100年時代、セカンドライフ充実に向けて、衣・食・住の暮らしを彩るアイデアを学ぶ。	市内在住、通勤の18歳以上の人	6月	3回	【実施日】 令和5年6月8日 令和5年6月22日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 1人 主世代 70代	【今年度の実施状況】 定員が30人のはず、各回の参加者が10人前後と少なかったことから、参加希望者が増加するよう、周知を工夫していく必要がある。また、アフターコロナの影響が、座学形式の講座よりも実習及びワークショップ形式を希望する声が多かったことから、検討していく。	【次年度の方針】 アフターコロナ後の生活様式の変化に伴い、衣食住のニーズが求められていることから、継続して開催する。	
	★健康講座	健康年齢・健康寿命・平均寿命について考え、健康を保つための知識・運動を学ぶ。	市内在住、通勤の18歳以上の人	5月	2回	【実施日】 令和5年5月11日 令和5年5月25日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 23人 主世代 70代	【今年度の実施状況】 講座自体は全般的に好評だったが、定員が20人のはず、各回の参加者が10人前後と少なかったことから、参加希望者が増加するよう、周知を工夫していく必要がある。	【次年度の方針】 全体的に好評であることや、健康に関する市民の関心が高く、運動を継続して行うことができるニーズが多いため、継続して開催していることから、継続して開催する。	
	宇都宮再発見講座	映画・テレビドラマのロケ地として人気の高い大谷地区を映像で紹介すると同時に、今昔を比較しその人気の秘密を探る。	市内在住、通勤の18歳以上の人	7月	2回	【実施日】 令和5年7月6日 令和5年7月13日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 23人 主世代 70代	【今年度の実施状況】 大谷地区ならではの、ロケ地としての魅力や変遷してきた様子を知ることができ、有意義な講座となった。今後の課題としては、2時間では伝えきれないことが多かったことから、もう少し絞る必要があり、回数を増やすなど、実施方法を検討する。	【次年度の方針】 宇都宮に住んでいても知らないことが多く、その土地ならではの発見ができただけで、今後は、大谷地区に限らず他の地区の魅力も再発見し、地域理解や郷土愛の醸成を目指すため、継続して開催する。	
	宇都宮再発見講座	映画・テレビドラマのロケ地として人気の高い大谷地区を映像で紹介すると同時に、今昔を比較しその人気の秘密を探る。	市内在住、通勤の18歳以上の人	7月	2回	【実施日】 令和5年7月6日 令和5年7月13日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 23人 主世代 70代	【今年度の実施状況】 大谷地区ならではの、ロケ地としての魅力や変遷してきた様子を知ることができ、有意義な講座となった。今後の課題としては、2時間では伝えきれないことが多かったことから、もう少し絞る必要があり、回数を増やすなど、実施方法を検討する。	【次年度の方針】 宇都宮に住んでいても知らないことが多く、その土地ならではの発見ができただけで、今後は、大谷地区に限らず他の地区の魅力も再発見し、地域理解や郷土愛の醸成を目指すため、継続して開催する。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	すくすく子育て応援講座(前期)	親子が楽しみながら触れ合い、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しみながら交流を図る。	市内在住の乳幼児(哺乳後)4か月程度～1歳前後とその保護者	5月	4回	【実施日】 令和5年5月10日 令和5年7月12日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 142人 主世代 30代	【今年度の実施状況】 3ヶ月～1歳前後の乳幼児対象のため、安全面から和室で実施した。母親で参加する熱心な保護者もいた。音楽や歌、カラフルな色の教材などを使うことで、赤ちゃんの習得教育などに効果をもたせられた。	【次年度の方針】 受講申込みが多く、子育て講座への市民ニーズが高いことから、子どもとのスキンシップや母親同士の交流をしながら楽しめる講座を提供するため、継続して開催する。	
	すくすく子育て応援講座(後期)	親子で遊びや運動をすることでふれあいを深め、同じ立場の親同士が育児の悩みや楽しみながら交流を図る。	市内在住の2～3歳児とその保護者	10月	3回	【実施日】 令和5年10月4日 令和5年12月6日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 61人 主世代 30代	【今年度の実施状況】 申込みが定員に満たず追加募集を行った。今回は、チラシ作成の際に内容欄に盛り込むワードやレイアウト等に工夫を加え、積極的に周知する必要がある。	【次年度の方針】 体を動かす講座での親子のふれあいや、親同士の交流など、講座に参加することで、子育ての悩みを分かち合い、また楽しみながら子どもと触れ合う機会を提供するなど、保護者がリフレッシュできる講座を実施するため、継続して開催する。	
	親子で学ぶ作文の書き方講座	作文の書き方を基礎から学ぶことで、「考え」を文章にまとめる力を養い、コミュニケーション力をつける一助とする。	市内在住の小学4～6年生の児童とその保護者	8月	2回	【実施日】 令和5年8月2日 令和5年8月9日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 24人 主世代 小学生	【今年度の実施状況】 アフターコロナで夏休み小学生向け講座が多く広報誌に掲載され、日程が重なったこともあり、思ったより参加者が集まらなかった。親子で学ぶことで、自分の「考え」をまとめる力がつき、コミュニケーションも取れた印象があるため、今後は、より多くの参加者を募るため、積極的に周知していく。	【次年度の方針】 作文の書き方を学ぶことにより、表現力、伝える力、論理的思考を身につけることができることから、継続して開催する。次年度は、地域の小学校に向けて、参加者募集の呼びかけを行う。	
	プログラミング入門講座	小学校で必修科目となったプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。	市内在住の小学生	7月	2回	【実施日】 令和5年7月26日 令和5年7月27日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 27人 主世代 小学生	【今年度の実施状況】 ロボカムをプログラミングして動かすことは、思ったより難しくなく、子どもたちは楽しんでおり、好評だった。トライ＆エラーを繰り返すことも楽しそうだったが、最後まで課題をクリアする時間が足りなかった。の、声がよく聞かれた。	【次年度の方針】 プログラミングの基礎を学び、トライ＆エラーを繰り返すことは、問題解決への過程・思考を養うことにつながるから、継続して開催する。	
	★親子で学ぶコミュニケーション講座	コロナ禍で変遷している人間関係、親子、子ども、親と親等コミュニケーションの取り方を親子で学ぶ。	市内在住の小学4～6年生の児童とその保護者	8月	1回	【実施日】 令和5年8月3日 令和5年8月3日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 7人 主世代 小学生	【今年度の実施状況】 アフターコロナで夏休み小学生向け講座が多く広報誌に掲載され、日程が重なったこともあり、親が参加を希望しても子どもが嫌がったケースもあったことから、思ったより参加者が集まらず、講座内容のPR不足を感じた。	【次年度の方針】 アフターコロナで、市全体的に夏休み小学生向け講座が多く企画され、予約よりも市民ニーズがないことから、廃止とする。	
	夏休み小学生講座	小学4～6年生の児童が、他の学区の児童と親睦を深めながら実験や工作などを通して夏休みの自由研究などの一助とする。	市内在住の小学4～6年生の児童	8月	3回	【実施日】 令和5年8月1日 令和5年8月8日 【連携団体数】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 うち子ども 18人 主世代 10代	【今年度の実施状況】 応募数が少なかったことから、地域担当職員を通して小学校にチラシ配付依頼をした。また、講座依頼先からの返事が遅かったため市の出前講座に変更して実施した。	【次年度の方針】 保護者による送迎の負担軽減なども考慮し、近い日程で回数を2回として継続して開催する。また、円滑に運営するため、日程に余裕を持った講師の確保や、地域小学校の対象学年あてに早めのチラシ配布依頼を検討する。	
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	【今年度の実施状況】 令和5年度活動事例 陽南中学校魅力ある学校づくり地域協議会会議に3回出席した。	【今年度の実施状況】 地域協議会会議に出席し、情報交換を行った。	【次年度の方針】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っている。		

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針		
③ 地域に理解を促す進捗の充実と学んだ成果	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学ぶ場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数		各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 「式典」「地域交流事業」の二部構成で実施し、「二十歳の祝福」と「二十歳としての自覚や地域への感謝の気持ちの醸成」を図るつどいを開催することが出来た。	【次年度の方針性】 次年度も参加者への二十歳としての自覚や地域に対する感謝の気持ちを育む内容の式典を開催する。	
						陽南	26 人	2 回					
						若松原	22 人	2 回					
④ 持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤の強化	南生涯学習センター文化祭	地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。	南生涯学習センター利用団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色		【今年度の実施状況】 生涯学習団体が主体となって準備や当日の運営等を行うことで、日頃の活動成果を存分に発表することができた。また、文化祭に参加することで、活動意欲やモチベーションが上がり、団体活動の活性化に繋がった。	【次年度の方針性】 新型コロナウイルス感染症の影響や団体構成員の高齢化などにより、参加団体が少なかったことから、より参加団体を増や工夫や取組みを行うことで、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場とする。		
					9 団体	280 人	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭に参加する生涯学習団体が内容や実施方法について検討し、当日の運営や準備、後片付けについても自分たちで行うなど、参加団体が主体となり、開催した。 実施内容を作品展と演奏発表に絞り込むことで、生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる文化祭を開催することができた。 						
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】		【次年度の方針性】 次年度も引き続き、下記により情報の収集・提供を実施していく。 ・研修に参加して、他の生涯学習センターや公民館における生涯学習に関する活動事例を収集 ・市や県等が主催、後援する生涯学習に関するポスター及び講座等のチラシを館内に掲示して情報を提供 ・主催講座について、パンフレットの配架や地域への回覧のほか、受講者の感想や効果について所内掲示により情報を提供 ・生涯学習団体について、団体概要や活動内容等のPRの場を提供		
					<ul style="list-style-type: none"> 主催講座実施後にアンケートを行い生涯学習に関するニーズを把握するほか、研修等で社会的関心の高い課題について情報収集を行った。 年間を通して生涯学習センター内の掲示板に以下の紙面等を掲示し情報を提供した。 市や県及びそれらの関連団体が主催、後援する生涯学習に関するポスターやチラシ センター主催講座毎に作成した講座の概要や受講者の感想等を記載した紙面 各生涯学習団体が作成した活動等に関する情報紙 ・主催講座パンフレットや文化祭チラシについて、南生涯学習センター及び所管4地区コミセンへ配架したほか、併せて地域世帯へ回覧を行った。 			<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関する市民ニーズや社会的な課題について情報収集を行うことが出来た。 生涯学習に関する講座やイベント、登録団体の概要や活動内容等について情報提供を行うことが出来た。 					
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】		【次年度の方針性】 今後も相談者の立場に立った親切で丁寧な学習相談を行うとともに、学習相談の参考となる登録団体が作成した団体紹介紙の館内掲示を継続して実施し、最終に学習相談をしやすい環境整備に努める。			
					来館	電話	FAX	Eメール	その他		合計	簡易問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。 登録団体から変更申請等を受けた場合は、速やかな事務処理と所内での情報共有を行うことができた。

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数
	講座数	講座	実施回数	回	
成人対象事業					
シニア対象事業	5	講座	15	回	371 人
青少年対象事業	4	講座	8	回	76 人
子育て対象事業	2	講座	7	回	162 人
計	11	講座	30	回	609 人

令和5年度 北生涯学習センター事業計画・事業実績

地域に居住する一人ひとりが生きがいをもち、充実した日々を過ごすことができるよう、主体的に継続して学んでいくための機会を提供するとともに、今後とも地域の活力が持続されるよう、子育て、環境、まちづくりに関わる人材育成など地域が持つ課題に対応した事業を実施する。

(ア) 一人ひとりの学習意欲を向上させることができるよう、社会の変化に対応できる知識の習得、社会への参画や人との交流を促していく講座のほか、伝統文化や教養を高める講座を実施する。

(イ) 子育て世代の保護者の気づきや子育てに必要な知識を得ることができるよう、参加交流型の講座を実施するとともに、子どもたちが知的探求心や創造する力を高め、地域の自然や伝統工芸などを学ぶ体験活動等を行う。

(ウ) 地域への理解や愛着を深めるとともに、住みやすい、より良い地域としていくための課題に気づきつづけていくことができるよう、地域を構成する自然や歴史などを学ぶ講座を実施する。

(エ) 生涯学習活動の活性化と地域住民の学習や活動を継続的に支援するため、センター利用団体と協働による講座の実施や環境の充実を図る。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かやがきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	8～2月	2回	【実施日】 令和5年8月29日 ～ 令和6年2月26日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人 70代	【今年度の実施状況】 受講者の約8割から「満足」「やや満足」との回答を得るなど好評であった。周知方法の違いにより、申込者数に差が生じたことから、より申込者数の増加につながる周知方法を検討する必要がある。 【次年度の方向性】 高齢者の情報格差の解消を図るため、日常生活に必要な高いスマートフォンを学ぶ機会を確保することが重要であることから、継続して実施する。
	北洲塾【Vスタッフ(一部)】	生きがいつくりや仲間つくりを目的に幅広い分野を身に付けて、地域社会への参加の輪を広げる。 ※(うち2回をVスタッフ企画講座として実施予定)	市内在住・通勤の65歳以上の方	6～12月	6回	【実施日】 令和5年6月14日 ～ 令和5年12月13日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 2 Vスタッフ「宙」、Vスタッフ「ともしび」 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 141人 0人 70代	【今年度の実施状況】 定員を超える応募があったほか、講座内容についても満足度が高く、受講者も積極的に講座に参加する姿が目立った。プログラムも多種多様な内容の中に、社会課題や受講後も各自活用できる内容のプログラムを行う事ができた。また、Vスタッフの企画講座を行う事により、新たな視点を入れた講座を実施することができた。また、高齢者対象の講座の為、新型コロナウイルスの感染リスクを考えた実施したことにより、参加者同士の交流につながるワークショップなどが少なかったため、今後は、仲間つくりにつながるようなプログラムの検討が必要である。 【次年度の方向性】 様々な学びの場になると受講者の満足度も高いことから、継続して実施する。実施にあたっては、参加者同士がコミュニケーションをとり、つながることができるようなワークショップ等を取り入れたプログラムも実施する。
	防災講座	台風・大雨など、自然災害への備えを学び、地域防災の課題解決につなげていく。	一般成人	6月	3回	【実施日】 令和5年6月16日 ～ 令和5年6月23日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 29人 0人 60代	【今年度の実施状況】 参加者からは、「栃木県の気象情報の活用について知ることができた。」「HUG(避難所運営ゲーム)については、臨場感を持って取り組むことができ、大変有意義な経験だった。」などの感想があったほか、「満足」「やや満足」の回答が割合を超えており、講座の成果をあげることができた。対象者が地域防災への関わりや関心のある人と限定したことから、参加者の多くが、地域防災のリーダーである自主防災会関係者や地域役員であり、地域の防災意識の向上につなげることができた。 【次年度の方向性】 防災会関係者や地域役員が交代する年数を踏まえて実施するなど、より効率的・効果的な開催間隔を検討する必要があるため、令和7年度の開催に向け準備を進める。
	聴いて読む名作	プロのアナウンサーの朗読を聴くことで、日本の古典をより深く味わうとともに、朗読への興味関心を高め、朗読のコツ等を学ぶ。	一般成人	10月	2回	【実施日】 令和5年10月5日 ～ 令和5年10月5日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 34人 0人 70代	【今年度の実施状況】 定員30名のところ、申し込み多数だったこと、例年当日の欠席があることをらまえて、35名として開催した。講師都合(講師依頼後の海外への転居)で2回の講座を1回に集約した。1回に集約したことでも内容の充実した講座となった。迫力の朗読を鑑賞し、講師の解説で2作品の背景を知ることができたと好評だった。以上を踏まえ、次年度の方向性を検討する必要がある。 【次年度の方向性】 北生涯学習センター独自の講座であり、専門的技術を有する講師の朗読を鑑賞する、毎年申込の多い講座であることから、継続して開催する。実施にあたっては、1回の講座としたことで、欠席者も少なかったことから、次年度については、県内の講師に依頼し、1回の講座として実施する。
	和文入門講座	楽しく日本文化の料に触れ、また、国際化の流れの中で自国の文化を知り、和の心をもったコミュニケーション能力を養う。	一般成人	11～12月	5回	【実施日】 令和5年11月9日 ～ 令和5年12月7日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 75人 0人 70代	【今年度の実施状況】 普段なじみのない日本の伝統文化に触れる貴重な機会を入門講座として提供するもので、受講者の満足度も高い。一方毎年継続している講座では定員に満たないものもあり、見直しを検討する必要がある。 【次年度の方向性】 各分野の講座を選択できるスタイルは好評であることから、選択式は継続しつつ、あまりなじみのない和文文化の分野のものを学び・体験できるように新たに加えながら、実施する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	子育てVVA・ママ応援講座1	乳幼児期に育てたこと(発達課題や生活経験)、親としての心持ち(自我が芽生えた子どもへの接し方)をグループワークを行うから学ぶ。また、ワークライフバランスの視点から、育児復帰への準備や様々な課題を乗り越える方法などをzoomを使い学ぶ。	未就学児を持つ親	6～7月	3回	【実施日】 令和5年6月3日 ～ 令和5年7月8日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 29人 0人 30代	【今年度の実施状況】 子育て世代を対象とした託児付講座については、「落ち着いて受講できる」など満足度も高く、また、ワークショップ形式での学習方法は、「他の方の表情を見ながら意見交換ができた」などの声もあり満足度も高かった。デジタルを活用したzoom講座は、新型コロナウイルスの影響も落ち着いており、集合型のニーズの高まりにより、受講者が少なかったことから、学習の方法を検討する必要がある。 【次年度の方向性】 保育園などでも多い地域特性を踏まえ、引き続き子育て世代を対象とした講座を継続して開催する。学習方法としては、満足度の高い集合型で、託児付として実施する。
	子育てVVA・ママ応援講座2	子育て世代の保護者がアンガーマネジメントについて理解することにより、子育てへの気づきや課題解決の方法を学ぶ。	子育て中の保護者	9月	2回	【実施日】 令和5年9月8日 ～ 令和5年9月15日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 15人 0人 40代	【今年度の実施状況】 他にないプログラムでのアンガーマネジメント講座であり、座学だけでなく、体を動かしたり、ゲームをするなど終始楽しく学ぶことができ、参加者同士の交流を図ることができた。また、「託児があってありがたい、子どもの経験にもなった」など、参加者からの満足度も高かった。今後は、幼児から小学生までのお子さんの保護者が対象であることから、平日開催だと仕事で参加できない方も多くと推測できることから、休日開催も検討する必要がある。 【次年度の方向性】 子育て中の悩みを解決する講座として、参加者の満足度は高いことから、継続して開催する。実施にあたっては、講座の参加促進を図るため土曜日に開催することで、参加者の増加を図る。
	親子自然探検隊	地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の保全グループと交流しながら自然に親しむことを通じて、生物多様性の大切さを知り、守ることの意義を知る機会とする。	小学生以下の子どもとその保護者	5～12月	5回	【実施日】 令和5年5月20日 ～ 令和5年12月16日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 0 グリーントラスト(レッドハイブ)、栃木県立博物館 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 116人 57人 40代	【今年度の実施状況】 自然相手の講座であることから、内容により、受講者の思った野外活動が出来なかった(幼虫探しやザリガニ釣り)面もあるが、内容的には好評だった。来年度は、県立博物館の講師への依頼が相手方の都合で1回となるため、講師の確保を検討する必要がある。 【次年度の方向性】 地域資源(戸祭山緑地、グリーントラスト)を活用しながら、子育て世代とその子供が、自然といのちの繋がりについて体験しながら学ぶ機会であり、参加者の要望・満足度も高いことから、講師の確保を図り、継続して実施する。
	親子でチャレンジ	親子が一輪に様々な体験活動(伝統工芸品作りや工作など)を行い、互いが認め合い尊重し合いながら親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。	小学1年生から4年生とその保護者	7～8月	4回	【実施日】 令和5年7月22日 ～ 令和5年8月19日 【連携実績】 連携団体数 連携団体等名称(企業・学校含む) 2 どびやま歴史体験館、環境学習センター 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 45人 23人 40代	【今年度の実施状況】 親子が共に体験活動を行うことで、相互理解を深めることや、活動の中で、子ども同士が交流することができた。今年度は募集組数に満たず、必要段階で4回の連続での参加が難しいなどの意見があったことから、今後は、4回の連続講座として開催するのではなく、4回の単体講座として開催する必要がある。 【次年度の方向性】 受講者の満足度は高く、親子や子ども同士の交流や普段経験できないものを体験できることから、継続して開催する。実施にあたっては、連続での参加が難しいとの声もあったことから、単体の講座として実施するなど実施方法を再検討する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針				
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	青少年リーダー養成講座	日常生活では経験できない体験をすることにより、社会や地域などについて学習する。また、同学年や別学年の児童がともに学ぶことを通じて、物事に積極的に取り組むことのできるリーダーの資質を磨く機会とする。	戸祭地区の小学校高学年	中止	中止	【実施日】 令和 年 月 日 令和 年 月 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代			【今年度の実施状況】 地域との日程調整がつかなかったことから、中止とした。	【次年度の方針】 当講座は、地域と連携した小学生講座として実施していたが、次年度は、地域の教育機関等と連携し、小学生を対象とした体験学習講座の実施を検討し、多世代交流を推進する。
	言葉あそび体験講座	ボランティアによる音遊び体験を通して、普段体験する機会が少ない遊びへの挑戦や子ども同士、ボランティア等とのふれあいを深める。	小学生とその家族	7月	1回	【実施日】 令和 5 年 7 月 27 日 令和 5 年 7 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 つくしんぽ(ボランティア団体) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 9 人 6 人 40代			【今年度の実施状況】 北生涯学習センター登録団体が講師として言葉あそびを実施し、参加した子どもたちに、好評であった。今後は、応募者の増員を図るため、市の広報紙だけでなく、地域の「子どもの家」など、地区内の対象者に積極的に広報するなど検討する必要がある。	【次年度の方針】 普段経験できない「水鉄砲」や「紙ヒコーキ」など、昔ながらの遊びを通して、子ども同士や親子の交流につながったことや、センター登録団体が講師となり、北生涯学習センターの活動内容も合わせて参加者に知ってもらえる機会となったことから、継続して実施する。
	とちぎ子どもの未来創造大学出前講座	子どもたちの学力向上の基礎づくりのために、学校における学習に加えて、学ぶ意欲を高める主体的に学習に取り組む姿勢を涵養することを中心に、県内の高等教育機関、民間企業等と連携しながら、子どもたちが「本物」に触れる学習機会を提供する。	小学生とその家族	10月	1回	【実施日】 令和 5 年 10 月 14 日 令和 5 年 10 月 14 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 栃木県教育委員会事務局河内教育事務所 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 13 人 13 人 10代			【今年度の実施状況】 集客に結び付くテーマ設定が難しい青少年対象の講座を県との共催で実施することができ、また、北生涯学習センターを初めて利用したとの参加者の意見も多かったことなどができた。 県との役割分担が不明瞭だったため、周知が足りなかった部分もあり、定員を満了できなかった。ただ、当日は参加者家族の見学が可能だったため、参加者だけでなく保護者や兄弟も一緒に参加し、楽しめる内容であった。 以上のことから、周知方法を見直しながら講座開催を検討する必要がある。	【次年度の方針】 内容的に大変好評であったが、県からの事業の募集が次年度に入ってからのため、募集要項等の周知があった際に改めて検討する。
	魅力ある学校づくりの地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 地域協議会等への支援・協力を行った。			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり協議会など地域の教育力に取組む団体の支援活動を行った。	【次年度の方針】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体への協力・活動支援を行っていく。
③ 地域組織の解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	★郷土の歴史を学ぶ【CKP】	中世宇都宮氏の足跡を学ぶことで、郷土愛への機運を作るとともに、郷土の文化に関する知識を身につけ、地域社会への参加のきっかけ作りを図る。	一般成人	11月	2回	【実施日】 令和 5 年 11 月 20 日 令和 5 年 11 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48 人 0 人 70代			【今年度の実施状況】 受講者のレベルの差も見受けられたが、内容的に難しかったことから、受講者の評価が分かれた。しかし、2回目の百人一首では、受講者同士が和気あいあいと取り合っている姿が、印象的であった。このような課題の講座については、受講者のレベルの問題があり、難しいところがある。 以上のことから、今後は、講座の内容などについて検討する必要がある。	ボランティアスタッフの提案講座のため、来年度については、未定である。
	二十歳を祝う大人のつどい	新成人(二十歳)が地域の人とともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	【実施日】 令和 5 年 1 月 1 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48 人 0 人 70代			【今年度の実施状況】 昨年度から会場が変更となったが、実施委員の協力もあり、「式典」「地域交流事業」とも円滑に運営することができた。 日程調整や会場調整が難しく参加できなかったとの意見もあったことから、募集及び実施期間等の検討が必要である。	【次年度の方針】 引き続き、実施委員等と連携を図り、より円滑かつ効率的な運営を行う。
④ 持続的に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域教育の基盤の強化	サークル活動体験	サークル活動に興味関心のある人が、気軽に活動に参加できるよう支援するため、北生涯学習センター利用団体と協働で、サークル活動を体験できる講座を実施し、生涯学習活動をはじめのきっかけ作りとする。	一般市民	3月	16回	【実施日】 令和 6 年 3 月 10 日 令和 6 年 3 月 27 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 17 北生涯学習センター利用団体連綿協議会、センター登録団体 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 69 人 0 人			【今年度の実施状況】 北生涯学習センターの登録団体(90団体)のうち約2割の団体の参加により実施することができた。また、参加者のうち約5割の方が新たにサークルに入会するなど成果を上げることができた。 日程調整や会場調整が難しく参加できなかったとの意見もあったことから、募集及び実施期間等の検討が必要である。	【次年度の方針】 サークル活動への興味関心を高め、市民の参加や交流が図ることができるよう実施することができた。また、サークルが初心者を受け入れのためのプログラムを検討するなど、サークル活動の活性化に繋がる事業であることから継続して開催する。
	北生涯学習センター文化祭	北生涯学習センターを拠点に活動している団体等の学習成果の発表の場を提供する。	北生涯学習センター利用団体及び一般市民	10月	1回	【実施日】 令和 5 年 10 月 14 日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 31 団体 750 人			【今年度の実施状況】 生涯学習団体が日頃の成果を発表することができ、活動意欲やモチベーションを高めることができた。また、今回初めて活動体験コーナーを設けたことで、見学者も観覧するだけでなく、参加することができたことから、興味・関心の向上につながった。また、文化祭を映像化し、来館者への周知も行った。	【次年度の方針】 利用団体の構成員の高齢化などにより、参加団体が少なかったため、地域団体や学校なども巻き込みながら、参加団体を増やす取り組み等を検討し、実施する。
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・北生涯学習センター登録団体一斉を前案、また、団体活動のチラシを掲示するなど、生涯学習情報を提供した。 ・「生涯学習サークルを体験してみよう」に参加する団体については、サークルの活動内容などの情報を事業の周知用チラシなどにより、広く市民へも情報提供を行った。			【今年度の実施状況】 生涯学習に関する講座やイベント、登録団体の概要や活動内容等の情報提供を行う事ができた。	【次年度の方針】 生涯学習センター内に、センター主催事業や市や県等が主催・後援する生涯学習事業のちらしやポスターを掲示するほか、生涯学習団体について、団体概要や活動内容等のPRの場を提供するなど、引き続き、生涯学習の情報収集・提供を行っていく。
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者が取り組む活動の質の向上、学習活動中の課題や悩みへの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件) 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 予約 問い合わせ 22 21 0 0 0 43 41			【今年度の実施状況】 サークル一斉を窓口に配架し、学習への意欲に促すことができた。また、生涯学習サークルを体験しようを実施することにより、学習意欲を掘り起こすことができた。	【次年度の方針】 引き続き、相談者への登録団体の紹介や情報提供など、活動意欲に繋がる発信を積極的にやっていく。

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数		参加者数	
	講座数	実施回数	回	人
成人対象事業				
シニア対象事業	7	33	回	425
青少年対象事業	2	2	回	22
子育て対象事業	4	14	回	205
計	13	49	回	652

令和5年度 平石生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 平石地区においては、少子高齢化の進行、特に高齢化が顕著であるとともに、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化などにより、地域を担う活動者の固定化や若い世代の活動者が少ないことなどから、地域活動の活性化や新たな人材の発掘・育成が必要となっている。
 こうしたことから、子どもから高齢者に至るまでの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活を送り、学んだ成果が地域活動への参加や次代を担う地域リーダーの育成に結び付きかけとなるよう、交流による仲間づくりや身近な地域の魅力の再発見による郷土愛の醸成を図る講座を実施する。
 また、保健福祉の東部地区の拠点としての利点を最大限生かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携し、地域住民の健康づくりや子育てに関する講座など、特色ある事業を積極的に展開していく。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 推進地 住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	8～1月	1回	【実施日】 令和5年8月4日 ～ 令和6年1月25日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 10人 うち子ども 0人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 受講者が少数であったため、個別質問に対して丁寧に対応することができ、気づきや課題解決を図ることができた。平石地区のほか近隣地区（石井、隣東）に講座チラシを配布するなど周知啓発に取り組みたくところであるが、受講者は少人数となってしまったため、さらなる周知啓発に取り組みたい。	【次年度の方針性】 開催日時を検討や講座内容の充実を図りながら、デジタルデバイス対策や世代・ニーズに合わせた講座を継続して実施していく。
	きらきらセミナー	幅広い世代が交流するきっかけづくりと、社会性や適応力を高めるため、学びをとおして個々の教養を深めて人間力を高め心の豊かさに繋げる。	地域内の成人	7～2月	4回	【実施日】 令和5年7月13日 ～ 令和6年2月28日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 54人 うち子ども 0人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 今年度のテーマを「音楽」とし、4回の講座をそれぞれ音楽に関する様々なジャンルやアプローチを取り入れ、多様な講師に依頼するなど、講座内容をより充実させることができ、受講者のアンケート結果も99%が満足と回答があり、好評だった。学習目標の幅広い世代の交流に資するため託児を設けたが、子育て世代（30代40代）の参加が少ない状況であった。	【次年度の方針性】 託児を設けるなど、幅広い世代の参加や交流を目的として引き続き企画するとともに、子育て世代（30代40代）の参加に繋がるよう講座内容の充実、開催日時等の調整や周知啓発に取り組みしていく。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	◎親子の広場「はくはく」	・乳児を持つ親と子ども（子育て中の親子）が気軽に集い、母親同士の情報交換、育児相談を行う。 ・年7回のお楽しみ講座「はくはく+」において、家族で参加できる企画も取り入れ拡充を図る。	主に乳幼児（0～3歳）を持つ子育て中の親子	5～3月	40回	【実施日】 令和5年5月9日 ～ 令和6年3月19日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 293人 うち子ども 147人 主な世代 30代	【今年度の実施状況】 乳幼児を持つ親同士のコミュニケーションがもっと活発にできるよう「はくはく」（申込不要で開講時間（10：00～12：00）に自由に入出できる）を開催し、参加者同士の子育てでの不安解消や感動の共感を持つようしていく機会として講座を実施することができた。	【次年度の方針性】 少子化が著しいことから、より一層、乳幼児を抱える親同士の触れ合う場が必要である。乳幼児期の子育てでの悩みを気軽に話すことで、心身のストレスのリフレッシュに繋げ、同じ仲間とふれあうことで悩みを共有し、楽しく安定した子育てに繋がる講座とするため、継続して開催する。
	わくわく教室	多文化共生の推進につながる体験活動や交流を通じて、仲間との関わりを深めるとともに、育成会と連携しながら異世代との交流を通じて、少年の生きる力を育てる。	地域内の小学生	7～10月	2回	【実施日】 令和5年7月27日 ～ 令和5年10月10日 【連携実績】 連携団体数 2 平石地区まちづくり協議会、宇都宮市国際交流プラザ 【参加者数】 合計 26人 うち子ども 26人 主な世代 10代	【今年度の実施状況】 ・LRT開業記念の一環として、小学生を対象にLRT車庫などの塗り絵をもちにデコレーションを行う『創作塗り絵』を開催し、センターロビーに展示するなど、LRTへの関心・機運醸成の一助として貢献することができた。 ・多文化共生の推進を図るため、国際文化の理解を促す講座を毎年実施しており、今年度はヨーロッパ圏であったことから、今回はスリランカについて学習機会を設けた。より理解が深まるよう、スライドショーの動画製作を依頼し、講師も熱心に対応していただいたことから、充実した内容で実施することができた。 ・ものづくり（型紙）の講座が2回で内容が薄ってしまったことから様々な内容を検討していく。	【次年度の方針性】 ・国際理解の講座は、率先して取り組むテーマであることから、次年度も継続して実施する。 ・地域の育成会事業と連携する部分が多いため、今後は協力しながら共同開催するなど、内容の充実を図っていく。 ・地域資源を活用した内容を盛り込んだ講座を検討する。（平石が製作した「郷土料理のレシピ本」を教材として、地域人材を講師に迎え、調理実習を行うなど、郷土に対する愛着や感謝の心を育む取組としていく。）
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 魅力協で行うイベント等をセンター内で情報提供している。魅力協から提供された地域課題等について、迅速に関係課等へ連絡調整を行い、魅力協にフィードバックするなど、円滑に対応した。	【今年度の実施状況】 LRT開業イベント等では、魅力協と連携しながら事業を実施することができた。 【事業概要】 児童が描いた似顔絵を植木鉢に印刷し、沿線各校舎に掲示したほか、似顔絵作成や開業記念の取組がとちぎテレビで放映された。	【次年度の方針性】 引き続き、魅力協事業に係る地域への情報発信や学校に対する情報提供等により活動支援を行う。 ・魅力協が地域団体と協働できる事業に対して、センターが連絡調整役を担い、魅力協・学校・地域団体の連携強化に繋げる。
	◎ひらひら発見講座	地域団体との連携により、身近な地域団体の活動を地域に広め地域理解に繋げるとともに、地域資源を活かし地域に関心を持ち、地域活動の活性化や郷土愛を育む促進に繋げる。	地域内の成人	5～9月	3回	【実施日】 令和5年5月21日 ～ 令和5年9月27日 【連携実績】 連携団体数 0 【参加者数】 合計 138人 うち子ども 65人 主な世代 60代	【今年度の実施状況】 宇都宮の歴史資源や地域資源を活かした内容とすることで、地域への関心を持つことや、地域活動の活性化、郷土愛の育成の促進に繋がるように努めた。 また、LRT乗車体験を取り入れたことにより、LRT（地域資源）への関心・利用向上を図ることができた。	【次年度の方針性】 歴史・文化等、地域資源に関する様々な興味や関心等をテーマに取り入れ、地域団体の活動を地域に広め、地域理解に繋げるために継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 20人 実施回数 2回 各地域の取り組み ・実施委員会は全体会を1回、成人のみを対象に1回実施した。 ・記念品として、地元洋菓子店が製作した「LRT併乗子詰合せ」を提供した。 ・地域交流事業において、地元企業等の協賛金により、成人の実施委員が企画した在学生のスライドショーを実施した。 ・会場変更に伴い、手荷物置き場が確保できなかったことから、記念品用紙袋をAサイズにし、コートやショール等を入られるように工夫した。	【今年度の実施状況】 記念品として、地元洋菓子店が製作した「LRT併乗子詰合せ」を提供し、今年開催して話題となった地域内交通の周知の一助となった。また、地域交流事業では、成人の実施委員が企画した在学生のスライドショーを実施するなど、新成人が地域とともに式典を作り上げ、二十歳としての自覚や地域社会の一員としての意識醸成に努めた。	【次年度の方針性】 ・同フロアで複数の学校区と同時開催であったことから、今後は導線や受付場所等を調整しながら、円滑に事業を運営する。 ・大サイズの紙袋は好評であったことから、次年度も対応予定

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針			
						出展団体数	のべ来場者数	特色					
盤心の持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基	平石地区文化祭（同時開催：農業祭）	小・中学生の作品展示や、平石地区福祉施設や平石生涯学習センター利用団体による学習成果を発表することで、文化活動や生涯学習を推進する機会とする。また、参加することにより、地域住民との連帯意識高揚を図る。	平石生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	24	250	人	LRT開業に伴う、地元パン屋さんによる「LRTパン」の製作や特別販売、ピンゴ大会実施による集客力の向上	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの5類移行に伴い、実施内容をコロナ禍以前の制限がない状況に戻したことで、参加者・来場者の双方が交流が深まり、賑やかな文化祭となった。	【次年度の方針】 地域主体のアイデアや意見を活かし、地域住民同士が文化祭を楽しみながら、コミュニティの輪を広げていく。また、生涯学習の発表の場として提供し、学習の意欲向上や継続に繋げていく。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 特前にあった内容等を掲示し、来所する市民に対して、周知啓発を実施している。 生涯学習団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果（制作物など）の発表の場として、センターロビーに展示スペース（ギャラリーひらいし）を提供している。			【今年度の実施状況】 生涯学習団体や地区内の放課後子ども教室等の活動成果をセンターロビー展示スペース（ギャラリーひらいし）で周知したことで、生涯学習団体の作品展示の希望が増加し、生涯学習団体のPRや、センター利用者の満足、生涯学習事業への関心にも繋がった。	【次年度の方針】 継続して、センター内で講座のチラシやポスターによる周知啓発を図り、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習団体の活動成果（制作物など）の発表の場として、センターロビー展示スペースを提供する。 動画やSNS等を活用し、各種地域団体の活動の情報発信に取り組み。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上のほか、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者の多くは60歳代以上の方であり、相談者が希望する活動における、当センターで活動する団体情報に関する相談内容が多かった。相談者の意向をよく聞き、ニーズを把握したうえで助言・支援を行った。	【次年度の方針】 相談者のニーズに応じ、その活動に関する課題や相談内容について適切な助言や学習活動へのつなぎ・支援を行う。また、持続的に多種多様な分野の学習が持続的にできるよう取り組み。			
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	難易問い合わせ		
					9	3	1	0	0	13	21		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数		実施回数			
成人対象事業		講座		回		人
シニア対象事業	3	講座	9	回	202	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	26	人
子育て対象事業	1	講座	17	回	293	人
計	5	講座	29	回	521	人

令和5年度 清原生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
LRTの発達を見据えた「まちづくり」や地域の観光振興を推進していくため、次世代のまちづくりを担う人材の育成が不可欠である。このことから、地域住民一人ひとりがまちづくりの推進力となるよう、人材育成に資する講座を開催するとともに、オンラインの活用検討など、幅広い世代が講座に参加しやすい環境整備を図る。 ・住民が地域の歴史や文化等を幅広く学び、地域への愛着を深めるとともに、観光振興や賑わいの創造に携わる人材の育成に向けた講座を展開する。 ・子育て世代の不安解消や家庭内の教育力を向上させるため、地元大学や関係団体の専門家をとの連携を強化し、専門性が高く、子育て世代の学習ニーズに対応した事業を展開する。	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針		
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内一般成人	8～2月	2回	【実施日】 令和5年8月22日 ～ 令和6年2月27日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 清原地区老人クラブ連絡協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 27人 0人 70代	【今年度の実施状況】 【実施日】 令和5年8月22日 ～ 令和6年2月27日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 清原地区老人クラブ連絡協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 27人 0人 70代	【今年度の実施状況】 みんなでまちづくり講座が主たる講座であり、指定された日程で行うため実施時期が限定された。夏と冬の時期ではなく、高齢者が外出しやすい時期に行うことが集客が見込めるため、調整する。	【次年度の方向性】 市民ニーズや講座を主導しているみんながまちづくりの意向を確認しながら事業を進めていく。	
	青少年指導者・育成者研修会	地区の子どもの役員や育成会役員など、地域で子育てに携わる人材のスキルアップを図る。地域の教育力の向上を図る。	地域内青少年育成関係者	11月	2回	【実施日】 令和5年11月10日 ～ 令和5年11月10日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 3 作新学院大学、青少年育成協議会、子ども会育成連絡協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 31人 0人 40代	【今年度の実施状況】 【実施日】 令和5年11月10日 ～ 令和5年11月10日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 3 作新学院大学、青少年育成協議会、子ども会育成連絡協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 31人 0人 40代	【今年度の実施状況】 コロナ禍で、思うように学校生活が過ごせなかった青少年に対し、支援やアドバイスに繋がる手法を学ぶ機会となり好評だった。今後は、多くの青少年指導者や育成者が参加できるように、講座開催案内の時期や募集方法等について検討する。	【次年度の方向性】 地区の青少年育成協議会及び子ども会育成会連絡協議会などと連携し、新たな地域居住者とのコミュニケーションを通じて、子育て中の若年世帯の不安解消や地域で子育てに関わる人材のスキルアップを図るため、継続して開催する。	
	清原の魅力を発信しよう!! 講座	LRTの発達を見据えた「まちづくり」や清原地区における観光振興を図るため、地域住民が地域の歴史・文化や農産物などの地域資源の魅力を幅広く学び、わがまち意識の醸成を図るとともに、SNS等を活用した情報発信や、新たな販路の開拓が図れるような講座を開催する。	地区内住民	9～12月	3回	【実施日】 令和5年9月21日 ～ 令和5年12月13日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 清原地域振興協議会、作新学院大学 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 47人 0人 70代	【今年度の実施状況】 【実施日】 令和5年9月21日 ～ 令和5年12月13日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 清原地域振興協議会、作新学院大学 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 47人 0人 70代	【今年度の実施状況】 地区内の歴史を知るために館外学習を入れたことで、清原の魅力を更に知る事ができた。また、学生から学んだSNSの活用等を更に観光振興としてつなげたいけるように情報発信していくことが必要なため、検討していく。	【次年度の方向性】 地区内の埋もれた歴史・文化等及びその歴史を語る人による講話を行うなど、清原地区の観光振興、さらには「まちづくり」にも繋げていくため、継続して開催する。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	ふれあい子育て広場	親子のふれあいを通じ、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図る。子育て世代の親子関係を育む。作新学院大学との連携により、専門的な学習内容を提供するとともに、受講者がオンラインが対象を選べるようにするなど、学習機会の充実を図る。	地区内の未就学児とその保護者	6～12月	3回	【実施日】 令和5年6月27日 ～ 令和5年12月7日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 作新学院大学、地域保健福祉担当(東部) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 82人 41人 30代	【今年度の実施状況】 【実施日】 令和5年6月27日 ～ 令和5年12月7日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 作新学院大学、地域保健福祉担当(東部) 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 82人 41人 30代	【今年度の実施状況】 親子での参加ということもあり、天気の影響で出席数の変動が大きかった。また、今年度は、ボランティアによる絵本の読み聞かせを毎回行い、参加者からは好評だった。今後は、多くの親子が参加できるように、講座開催案内の時期や募集方法等について検討する。	【次年度の方向性】 親子のふれあいを通じ、親子の絆を深めるとともに、同世代の保護者同士の交流を深め、子育て世代の不安解消を図るため、継続して開催する。	
	チャレンジ遊び塾	日常生活では体験できない「遊び」や「学び」を通じて、新たな物事への好奇心やチャレンジ精神を育む。	地区内小学生	8月	1回	【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和5年8月1日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 本田技研工業㈱/ワートレインユニット製造部 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 9人 9人 10代	【今年度の実施状況】 【実施日】 令和5年8月1日 ～ 令和5年8月1日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 本田技研工業㈱/ワートレインユニット製造部 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 9人 9人 10代	【今年度の実施状況】 川原の石の色や形を見ながら自由にペインティングを行うなど、「遊び」を通じて、自ら考え自然を大切にする心を育むことができた。今後は、多くの児童が参加できるように、講座開催案内の時期や募集方法等について検討する。	【次年度の方向性】 子どもに関心の高い「自然」をテーマに、毎年、メニューをリニューアルし、魅力ある講座を開催する。	
	企業体験教室	清原工業団地の企業との連携による講座を開催し、「日本ものづくり」の偉大さや、日本を代表する企業が地域にあることを認識させ、子ども達の郷土の誇りと愛着を育む。	地区内小学生	8月	1回	【実施日】 令和5年8月8日 ～ 令和5年8月8日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 キヤノン㈱手動部事業部 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 18人 18人 10代	【今年度の実施状況】 【実施日】 令和5年8月8日 ～ 令和5年8月8日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 キヤノン㈱手動部事業部 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 18人 18人 10代	【今年度の実施状況】 「カメラレンズ」の仕組みや技術について学び、日本を代表する企業が地域にあることへの誇りと郷土愛の醸成へと繋げることができた。今後は、さらに学習効果が更に高まるよう、地域企業を会場として講座が開催できるよう調整する。	【次年度の方向性】 地域企業と連携し、学校や家庭では学ぶことのできない「ものづくりの素直らしさ」を体感できる講座を開催する。	
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。	【今年度の実施状況】 清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。	【今年度の実施状況】 清原中学校生徒会が実施する地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行った。	【次年度の方向性】 令和5年度は「環境問題」をテーマに行ったが、今後は「清原地区をもっと知る」「LRTの魅力発信」「もっと人が集まるまちづくり」などをテーマに地域未来会議の円滑な実施に向けて、連絡・調整などの支援を行っていく。		
みんなの地産地消果実祭を開催し、地産地消の魅力を発信する。	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 各地域の取り組み 清原 34人 1回 式典会場の変更に伴い、会場レイアウト等や各担当の詳細説明を実施した。また、当日は、スムーズな開催ができるよう各担当ごとの打合せを行い周知を図った。	【今年度の実施状況】 昨年度の式典会場から変更となったため、事前に会場の見学等や打合せを綿密に実施した。	【次年度の方向性】 次年度も式典会場の下見や、担当者との打合せを行い、スムーズに対応ができるよう実施していく。			

重点項目	事業名	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針										
		内容	対象	時期	回数	事業実績						評価		今後の方針			
						出席団体数	のべ来場者数	特色				【今年度の実施状況】	【今年度の方向性】				
の4 基 盤 的 の 強 化 地 域 住 民 の 学 習 や 活 動 ・ 交 流 を 支 援 す る 地 域 教 育	清原地区文化祭 (同時開催：農業祭)	清原生涯学習センターの利用団体が、日頃の成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。	生涯学習センター利用団体及び地区内小中学生等	11月	1回	50 団体	3000 人	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前の規模に戻し実施 ・清原体育館の無料開放デーに併せて開催 →清原公園も含め会場を拡大(農業祭会場)、来場者駐車場の確保 ・LRT開業記念事業 →停留所をスタンプラリーポイントにしLRT周知 				<p>【今年度の実施状況】</p> <p>LRT開業年を記念し、清原体育館無料開放デーとの同日開催により、例年より拡大した会場をスタンプラリーで周遊するなど、今までにない文化祭を企画した結果、来場者も増え、賑わいの創出につながった。</p>		<p>【今年度の方向性】</p> <p>引き続き、多くの来場者を迎えられよう、文化祭の日程調整(地域内行事や清原体育館無料開放デー)を図り、地区外にも積極的に周知を行う。</p>			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例						<p>【今年度の実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報は、市民に対し随時提供していく必要があることから、センター内に設置している「地域情報コーナー」に利用団体のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 		<p>【今年度の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、センター内の「地域情報コーナー」において、チラシやポスター等の媒体をとおして生涯学習情報を提供する。 ・サークルの活動内容が分かりやすい一覧表を作成し、市民の目を引くような場所へ配置する。 			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上のほか、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績						<p>【今年度の実施状況】</p> <p>生涯学習団体登録やマナビス講師登録等の問合せや相談に際し、適切に対応する必要がある。</p>		<p>【今年度の方向性】</p> <p>引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行うほか、的確、迅速に対応できるよう取り組むことで、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。</p>			
						内訳(件)											
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ					
						0	0	0	0	0	0	12					

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数	回数	人		
成人対象事業	1	講座	1	回	31	人
シニア対象事業	2	講座	5	回	74	人
青少年対象事業	2	講座	2	回	27	人
子育て対象事業	1	講座	6	回	82	人
計	6	講座	14	回	214	人

令和5年度 横川生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針									
横川地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が中心となり、様々な活動を展開しており、また、近年人口が増加するとともに、若い世代の割合が高い状況にある。一方で、少子・超高齢化や核家族化の進行に伴い、地域コミュニティの希薄化など様々な課題が生じており、地域の連帯感の醸成や地域を担う人づくりが急務となっている。このことから、住民自らが地域に目を向け、地域の課題に気づき、解決に向けた契機とするための講座や、青少年や子育て世代、高齢者など幅広い世代を対象に、学ぶことの楽しさや仲間づくり、生きがいづくりにつながる講座を実施し、学んだ成果を活かして地域で活動する人材の育成や、家庭・地域の教育力の向上に結びつくような事業を展開する。									
★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【スタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト									
重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績			今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9月	2回	【実施日】 令和5年9月27日 令和6年1月24日	【今年度の実施状況】 講師の説明がとてわかりやすく、また補助者も4人いたことから、一人一人にきめ細かな対応をすることができ、受講者はとても満足していた。しかしながら、高齢者の方にとって操作は難しく、1回の講座で覚えることは容易なことではないことから、繰り返し講座を開催していくことが必要のため、検討する。	【次年度の方向性】 人気の高い講座であり、繰り返し開催していくことが必要であることから、継続して開催する。	
	ことぶき塾	日常生活に即した課題や社会問題、歴史、文化、芸能等、生きがいの創出につながるような講座を開催することで、高齢者がいつまでも元気でいきいきと豊かな暮らしを送れるよう支援を図る。	横川地区の60歳以上の住民	6月	5回	【実施日】 令和5年6月8日 令和5年11月9日	【今年度の実施状況】 高齢者の生活における問題などをテーマにした講座や、いつまでも元気でいられるように運動や健康についての講座、また、生きがいの創出につながるような講座を開催することができた。課題としては、コロナ以前と比べ受講者が減少傾向にあることから、講座内容を精査し、より関心を持ってもらえるよう講座を企画していく。	【次年度の方向性】 引き続き、高齢者の生きがいとなり、より良い暮らしができるよう参加される方が満足できる講座を開催していく。	
	大好きヨコカワ【CKP】	横川地区のまちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用につながるよう、地域活動参加の契機となるような内容の講座を実施する。	横川地区住民等	2月	1回	【実施日】 令和6年2月17日 令和6年2月17日	【今年度の実施状況】 片付けについての効率的な手法を学ぶ、親子で取り組む講座として実施し、参加者からは分かりやすく、重荷にならない取組方を分かりやすく学べたとの評価を得ることができた。	【次年度の方向性】 親子が取り組む共通の題材を講座のテーマとして設定し、親子の触れ合いを深めることを目的として有効であるため、引き続き継続して実施していく。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動	親子のひのび講座	就園前の幼児期に、体操やレクリエーション等を通して、親子のスキンシップを深め、親子双方の育ちを支援するとともに、同じ子育て世代同士が知り合う場や母親のライフデザインを考える契機を提供する。	2～3歳児とその保護者	7月	5回	【実施日】 令和5年7月23日 令和5年12月13日	【今年度の実施状況】 生の演奏を聴くコンサートや読み聞かせなど、新たな内容を設定し、講座内容の充実を図ったことで、参加者アンケートからも満足度が高い講座が実施できた。参加申込についてもコロナ感染症の5類移行など影響が低くなったこともあり、講座実施の後半には申込者の増加傾向にあった。引き続き、参加者のニーズに合った講座内容の充実に努めていく。	【次年度の方向性】 引き続き、講座の目的である親子双方の育ちの支援や、子育て世代同士が知り合う場や母親の自己肯定感を高めるために有効な講座であることから、継続して開催する。	
	ワクワク体験教室	児童が、同年代の子と一緒「ものづくり」などの体験活動を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付ける講座を実施する。	小学生	8月	3回	【実施日】 令和5年8月2日 令和5年8月23日	【今年度の実施状況】 地元企業や地域の関係者と連携を図ったことで、企業ならではの専門的な技術を学ぶ講座が実施できたことや、参加者からも十分楽しめたとの評価があったことなどから、当初計画どおりの実施をすることができた。	【次年度の方向性】 講座の目的である「学ぶ楽しさ」「自ら考える」ことや仲間づくりに有効な講座であるため、次年度も継続して開催する。	
③ 仕地域み理の解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 横川中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援を行った。	【今年度の実施状況】 地域協議会に3回出席し、情報共有・意見交換を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、地域協議会の委員として地域の教育力向上に取り組む団体への協力・支援を行っていく。	
	まるごと横川【CKP】	地域学講座として地元横川の魅力などについて学ぶことを通じて、地域に対する理解や愛着を深め、地域づくりに対する意識の醸成を図ることで、人材育成や地域ビジョンの推進につなげる。	横川地区住民等	10月	2回	【実施日】 令和5年10月21日 令和5年11月18日	【今年度の実施状況】 地域の文化財調査員と連携を図ったことで、地域の歴史や史跡等の知識を学ぶ講座が実施でき、参加者からも十分勉強になったとの評価があり、概ね当初計画どおりの実施ができた。引き続き、地域ビジョンの取り組みの一つとして魅力ある講座内容を設定していく。	【次年度の方向性】 横川地区の文化財の冊子リニューアルするため、歴史史跡等に興味のある方々に冊子作成に参加・協力してもらえよう、次年度も継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持ってもらうとともに、新成人（二十歳）が地域のひとから学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	【実施日】 1月1日	【今年度の実施状況】 コロナ前に使用していた会場に戻っての開催であったが、滞りなく利やかに実施することができた。協賛金により、みやげ物である地元江曾島町で生まれた陸稲「エソジマモチ」を使った「エソジマおかし」を、成人（二十歳）の記念品として贈呈した。	【次年度の方向性】 今年度同様の形で行う。継続して実施委員等と連携を図り、新成人（二十歳）が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を円滑に開催する。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針	
域外教育統一的に盤地の域強住民の学習や活動、交流を支援する地	横川ふれあいまつり（文化祭）	横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上や生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	横川生涯学習センター利用団体、地区内の小中学生及び各種団体、一般市民	11月	1回	出展団体数	の来場者数		特色		【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					24 団体	800 人		・横川の特産である宇都宮牛入りのカレーの無料配布や牛串の販売、地元横川産の農産物の販売。		新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ禍前の状態での開催をすることができた。4年ぶりの完全開催で、多くの来場者もあり、盛況のうちに終わった。	今年度同様の形で行い、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場を提供する。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例				【今年度の実施状況】	【次年度の方針】		
					<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター内に設置している掲示板へ、公共的学習事業団体等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。 生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の掲示スペースを提供した。 				生涯学習情報の発信の場として、出来るだけ新しい情報提供ができるよう、生涯学習サークル団体へ適宜、働きかけをしている。	今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）				【今年度の実施状況】	【次年度の方針】		
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。	引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行うほか、的確、迅速に対応できるよう取り組むことで、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。
					0	0	0	0	0	0	34		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回		
成人対象事業		講座		回		人
シニア対象事業	3	講座	9	回	138	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	32	人
子育て対象事業	2	講座	6	回	98	人
計	6	講座	18	回	268	人

令和5年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となりさまざまなまちづくり活動を展開している。当地域は、大規模な住宅団地の形成により子育て世代が多く居住していることから、子育て支援や青少年の健全育成を著実に推進する必要がある。その一方で、高齢化や核家族化の進行、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、地域コミュニティの希薄化なども目立ってきており、生活の核である家庭の重要性とともに、地域内の結びつきの必要性も一層高まってきている。こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、学ぶ人を増やし、学んだ成果が地域活動に結びつききっかけとなる事業の充実を図り、地域課題解決と変化する社会に貢献するための講座を展開する。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域ががやきプロジェクト

重点項目	事業の概要					令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ講座【CKP】(中級編)	スマホの操作を学んで、日常生活を便利にするため、必要な知識・技術を身につける。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	12月	1回	【実施日】 令和5年12月7日 ～ 令和5年12月7日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 6人 0人 70代	【今年度の実施状況】 スマホ基礎講座からレベルアップした中級編として、セキュリティ対策などを学ぶ内容とした。参加者は少なかったが、好評だった。	【次年度の方針性】 参加者には好評であり、今後も、デジタル化に向けて必要な講座であるため、継続して開催する。参加者の増加を目指し、実施方法や周知方法等を検討する。	
	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9月2月	2回	【実施日】 令和5年9月7日 ～ 令和6年2月5日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 22人 0人 70代	【今年度の実施状況】 スマホの利用技術の向上を図るため、基本的な操作方法を学ぶ内容とした。参加者は少なかったが、好評だった。	【次年度の方針性】 今後も、デジタル化に向けて必要な講座であるため、継続して開催する。市民まちづくり部主催であることから、方針等を踏まえながら、地域の方が関心を持ってもらえるような内容を検討していく。	
	totraを使ってみよう	高齢者などが、交通系ICカード「totra」を上手に利用して、生活の向上や地域活用でのきっかけを作る。	市内在住者	11月	1回	【実施日】 令和5年11月10日 ～ 令和5年11月10日 【連携実績】 1 瑞穂野地区公共交通委員会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 6人 0人 70代	【今年度の実施状況】 交通系ICカード「totra」の利用方法や、今年度開通したLRTへの乗継方法などが学ぶことができ、参加者からは好評だった。	【次年度の方針性】 参加者が少なかったことから、瑞穂野地区公共交通委員会と協議しながら、再検討する。	
	◎女性のための大人の学び講座	子育てなどが落ち着いた女性が、健康に関することや本センターで活動する自主学習グループに参加することなどで学び、継続的な「学び」へのきっかけづくりと参加者同士の交流を行う。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	9月	3回	【実施日】 令和5年9月14日 ～ 令和5年9月28日 【連携実績】 2 足利銀行 個人コンサルティング部、平石地区市民センター保健福祉G 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 31人 0人 70代	【今年度の実施状況】 ヨガやフラワーアレンジメントなど、センターを利用している生涯学習団体の講師に依頼し、参加者からは好評だった。	【次年度の方針性】 講座終了後も、新規の団体登録や既存の団体への参加などがあるため、継続して開催する。	
	② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	なかよし親子の広場	幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支える。また、子育てに必要な知識の習得を促すとともに子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。	就学前の幼児と保護者	6～10月	5回	【実施日】 令和5年6月1日 ～ 令和5年10月31日 【連携実績】 1 平石地区市民センター保険福祉G 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 50人 25人 30代	【今年度の実施状況】 リトミックやハロウィンパーティーなど、様々な内容を実施し、好評だったが、参加者が少なかったため、周知方法などを再検討する。	【次年度の方針性】 子育てしている世代からのニーズの高い講座であるため、継続して開催する。
はっぴー子育て講座	乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや遊びを通して、家庭における子育ての向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。	乳児と保護者	6～7月	2回	【実施日】 令和5年6月29日 ～ 令和5年7月6日 【連携実績】 1 平石地区市民センター保険福祉G 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 37人 19人 30代	【今年度の実施状況】 保健師によるミニ講話などを開催し、好評だったが、今後も参加しやすい内容を検討する必要がある。	【次年度の方針性】 子育ての不安などに対する専門職のアドバイスが受けられ、地域のニーズが高い講座であるため、継続して開催する。		
少年ふるさと教室	体験活動を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する青少年	5月1月	2回	【実施日】 令和5年5月13日 ～ 令和6年1月21日 【連携実績】 1 瑞穂野地区青少年育成会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 500人 0人 30代	【今年度の実施状況】 地域との共済事業であり、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、数年、中止していたが、今年度は、久しぶりに開催することができ、参加者からは好評だった。	【次年度の方針性】 共済する青少年育成会との連携もよく、地区内の4小中学校の交流のため、継続して開催する。		
親子チャレンジ教室	専門家や地域のボランティアによる指導を受けながら、親子でいるからこそにチャレンジすることにより絆を深めるとともに、体験活動を通して青少年のリーダーとしての資質向上と育成を図る。また、保護者同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。	瑞穂野地区内に居住する青少年の親子	7～12月	4回	【実施日】 令和5年7月25日 ～ 令和5年12月23日 【連携実績】 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 74人 40人 30代	【今年度の実施状況】 参加者から好評ではあるが、講座の内容によっては、集客が少ない回があるので、内容の再検討を行う。	【次年度の方針性】 地域のニーズが高い講座であるため、継続して開催する。		
リーダー講習会	地区内の6年生を対象に、宿泊研修を行い、他校の仲間と交流を図る。	瑞穂野地区内の小学校6年生	7～8月	1回	【実施日】 令和5年7月30日 ～ 令和5年8月1日 【連携実績】 1 瑞穂野地区青少年育成会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 44人 44人 10代	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、数年、中止していたが、今年度は、久しぶりに開催することができ、参加者からは好評だった。	【次年度の方針性】 共済する青少年育成会との連携もよく、地区内の3小中学校の交流のため、継続して開催する。		
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 瑞穂野中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援を行った。	【今年度の実施状況】 地域協議会に出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方針性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。		

重点項目	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
	事業名	内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針
な③ げ地域 理解 解を の促 進す る講 座と 学ん だ成 果を 活動 につ	地域学「みずほの」	地域の特性や歴史、文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作ることに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。	瑞穂野地区内に居住する一般成人	5～12月	4回	【実施日】 令和5年5月22日 ～ 令和5年11月8日			【今年度の実施状況】 ダム見学の館外学習のほか蕎麦打ち体験などを実施し、参加者からは好評だった。		【次年度の方針性】 地域について学ぶことで、まちづくりに関心を持ってもらえるようにするため、継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに武典を作り上げることに、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学ぶ場、地域へ驚かす場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 瑞穂野	実施委員数 22人	実施委員会 実施回数 1回	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 昨年度と同じ会場での開催だったこともあり、スムーズに運営することができた。	【次年度の方針性】 実施委員の意見を聞きながら、成人のつどいが円滑に進められるように支援する。
の④ 基持 続的 の強 化	【みずほのフェスティバル】 瑞穂野生涯学習センター 文化祭 (同時開催：農業祭・福祉まつり)	センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般成人等・センター利用団体	11月	1回	出展団体数 14団体	のべ来場者数 1,500人	特色 「室PASS」を持参した方に、割引チケットを配布した。	【今年度の実施状況】 コロナ禍前の同様の内容で開催することができた。「室PASS」の活用もあり、多くの方が来場者し、盛況だった。	【次年度の方針性】 今年度同様の形で引き継ぎ生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場を提供する。	
の④ 基持 続的 の強 化	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 ・生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の掲示スペースを提供した。 ・団体一覧を作成し、活動を希望する方に配布した。			【今年度の実施状況】 学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供したほか、サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供した。	【次年度の方針性】 今後も継続して、生涯学習センター内において学習事業者等のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するほか、生涯学習サークル団体などの活動状況の情報発信の場として、無料の展示スペースを提供する。	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件） 来館 10 電話 1 FAX 0 Eメール 0 その他 0 合計 11 簡易問い合わせ 16			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援を行った。	【次年度の方針性】 引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行うほか、的確、迅速に対応できるよう取り組みを通じて、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数	講座	回		
成人対象事業						
シニア対象事業	5	講座	11	回	125	人
青少年対象事業	3	講座	7	回	618	人
子育て対象事業	2	講座	7	回	87	人
計	10	講座	25	回	830	人

令和5年度 城山生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心に沿った多様な学習活動への支援を継続するとともに新型コロナウイルス感染症により社会情勢や生活様式が変化の中で、地域主体のまちづくりを推進するため、地域と連携した人づくりや地域づくりの講座を実施する。

また、城山地区の豊かな自然と歴史ある地域資源を活かしその魅力を再認識できる講座や、災害対策など地域が抱える課題に対応するための講座を実施し、学習した成果を地域活動に生かすことができる地域の人材育成はもとより、家庭・地域の教育力の向上、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりに取り組む。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【GKP】：地域かやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
①地域の住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資す	◎ヒトマチづくり	地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通して、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。	地域内住民	7月	1回	【実施日】 令和5年7月9日 令和5年7月9日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 2 城山地区防災会、危機管理課 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 40人 0人 60代	【今年度の実施状況】 地域住民の防災に関する関心が高いため、昨年度に引き続き防災講座を実施した。 今年度は、防災会の役員及び協力員を対象とし、危機管理課による講義、グループディスカッションを行い、各自の防災に関する知識向上を図るとともに、防災会の底上げを図った。	【次年度の方針性】 次年度においても、防災講座を企画する予定であり、地区防災会の役員については、継続的に講座を受けてもらうことにより、地域の防災リーダーとしての知見を深めてもらう。また、地域住民も対象とし、いざという時の行動について考える機会とする。
	いきいきセミナー	多様な住居のニーズに合わせて、今、住民が必要とする情報や学習機会を提供することで、生涯学習のきっかけとなり、心豊かな生活の一助となるよう支援する。	地域内住民	9～2月	1回	【実施日】 令和5年9月12日 令和6年2月1日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 ハヤブサドットコム 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 27人 0人 70代	【今年度の実施状況】 地域におけるデジタル化を推進するため、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図ることができた。講座実施のチラシ配布時期が遅く、開催日までの期間が短かった。	【次年度の方針性】 講座内容を定型化せず、その時の社会情勢や地域のニーズに合った講座を企画していく。
②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	どもぞだち広場	乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、親同士が情報交換や情報を共有しながら、親子共々成長していく過程を支援していく。	0～3歳までの乳幼児とその保護者	5～12月	7回	【実施日】 令和5年5月19日 令和5年12月19日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 3 高妻地区市民センター、宇都宮市東區子育てセンター、南野東園 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 149人 76人 30代	【今年度の実施状況】 参加者からは毎回高い評価を得ることができた。 対象年齢が0歳から3歳と広いため、作業を簡単にしたり、体を動かす内容を多くするなど工夫したが、0歳児にとっては難しかったため、きめ細かな内容検討が必要であると認識した。	【次年度の方針性】 「もっとやってほしい」という声も多かったため、次年度は回数を1回増し8回開催する。 また、0歳でも楽しめるよう体を動かす内容を多く取り入れるなど、内容の充実強化を図る。
	親子でにこにこクッキング	命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地場産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。	地区内小学校に通学する児童とその保護者	7～12月	2回	【実施日】 令和5年7月9日 令和5年12月9日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 城山地区食生活改善推進員協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 29人 15人 小学生と30代・40代	【今年度の実施状況】 募集の対象を広げたことから、参加者増につながり活気ある講座となった。（小3～小4・小3～小6）	【次年度の方針性】 リピーター参加者が多かったことから、新しい参加者を募集するため、実施内容や周知方法を工夫して開催する。
	★科学実験教室	身近なものをテーマにした科学実験や食中毒や感染症の予防に有効な正しい手洗い体験などを学習し、科学的なものの見方等を学習する。 当初の事業計画では予定していなかったが、実施した。	小学3年生以上の児童	1月	1回	【実施日】 令和6年1月20日 令和6年1月20日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 衛生環境試験所 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 26人 26人 10代	【今年度の実施状況】 当初の事業計画では予定していなかったが、衛生環境試験所の協力により、今年度初めて実施した。予想より多くの応募があり、活気のある教室になった。	【次年度の方針性】 次年度も実施することとし、衛生環境試験所と連携しながら充実した講座となるよう進めていく。
魅力ある学校づくりの地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくりの地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 城山中学校魅力ある学校づくり地域協議会と協力し、生涯学習講座「しろやま地域学」を実施	【今年度の実施状況】 企画段階から協議に加わり、より充実した内容になるよう支援した。	【次年度の方針性】 さらに育成会等の地域団体と交流できるよう支援していく。	
③地域の理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	◎しろやま地域学	豊かな自然や文化財などの地域資源を知ること、地域の魅力や課題に気付くきっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。	地域内住民	7～10月	1回	【実施日】 令和5年7月10日 令和6年10月10日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 1 城山中学校地域協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 36人 0人 20～60代	【今年度の実施状況】 「城山再発見」と題し、城山中学校地域協議会と協力して講座を企画した。 内容としては、大谷の採石跡地の地下空間を探検しながら、大谷石の歴史を学ぶもので、日常生活では味わえない城山の魅力を再発見することができた。	【次年度の方針性】 講座内容を定型化せず、その時の社会情勢や地域のニーズに合った講座を企画し、継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度新成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 各地域の取り組み 城山 23人 1回 業務の効率化を図り、円滑に式典を開催した。また協賛金を使用して地域特有の記念品を配付した。	【今年度の実施状況】 当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。	【次年度の方針性】 継続して実施委員等と連携を図り、成人（二十歳）が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。 また、地域交流事業が充実したものとなるよう、二十歳の実施委員と連携を取りながら進めていく。

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針										
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針				
④ 基盤 盤 統 的 強 化 地 域 住 民 の 学 習 や 活 動 ・ 交 流 を 支 援 す る 地 域 教 育	城山生涯学習センター文化祭	地域住民の自主性と意欲によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。	城山生涯学習センター利用団体、地域内小・中学校県立盲学校、及び各種団体、一般市民	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色		【今年度の実施状況】 コロナ禍が明け、従来どおりホールアトラクション、作品展示、地域団体PRコーナー、模擬店、農産物販売（農業祭）、城山中学校吹奏楽演奏を行い、多くの来場者が訪れた。また、城山中学校生徒が模擬店やホールアトラクションなどにボランティアとして参加し、地域の人たちと一体となり、文化祭を盛り上げた。			【次年度の方針】 実施内容の充実を図り、さらなる来場者数の増加を目指すほか、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる場を提供する。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習センターの講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報を提供した。			【次年度の方針】 継続して生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等をおこなっていく。			
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の提供を行った。			【次年度の方針】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。			
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ			
						2	0	0	0	0	2	23			

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業	1	講座	2	回	36	人
シニア対象事業	2	講座	3	回	67	人
青少年対象事業	2	講座	3	回	55	人
子育て対象事業	1	講座	7	回	149	人
計	6	講座	15	回	307	人

令和5年度 国本生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
地域の生涯学習活動の拠点として社会の要請や地域住民のニーズに応じた多様な学習の場を提供することで、「地域で活躍できる人づくり」・「家庭や地域の教育力向上」・「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。 (ア) 地域人材や地域資源を活かし、地域を学ぶ講座を継続的に開催することで、地域の良さを再認識し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域に還元できる人づくりを目指す。 (イ) 地域と連携し、防災に関する講座を開催することで、災害時に適切な対応ができるようにするなど、地域の安心・安全な生活を支えることができる人材の育成に繋げる。 (ウ) 地域と家庭・学校等と連携した事業を実施し、家庭と地域が一体となって子どもを育てていくという意識を醸成し、地域全体の教育力向上を図る。 (エ) サークル活動の支援及び趣味・教養・社会の要請等に応じた主催講座や地区文化祭の開催などを通して、地域の課題解決に役立てるとともに、地域の方々の絆を深める交流の機会を創出し、地域コミュニティづくりの強化を図る。	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針					
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	9～2月	2回	【実施日】 令和5年9月26日 ～ 令和6年2月20日			【今年度の実施状況】 参加者からはおおむね好評であるが、個人の技術的なレベルの差が大きく、多数の質問に回答が追いつかない場面があったことから、講師以外にアシスタントの数を増やすなどの対応が必要であるため、検討する。	【次年度の方針】 今後、ますますスマホ等のデジタル機器の知識の必要性は高まることから、継続して開催する。
	くにもと元氣アップ講座	地域の人々が、日々元気で生き生きとした生活が送れるよう、フレイル予防等について学び、健康寿命の延伸に役立てるとともに、受講者同士の交流を通して地域の絆を深めていく。	地区内在住の一般成人	6～7月	2回	【実施日】 令和5年6月21日 ～ 令和5年7月13日			【今年度の実施状況】 参加者からは好評な講座であるが、より多くの人に参加してもらえよう、内容を見直す必要がある。	【次年度の方針】 地区の介護健康度が低いことから、講座の内容を見直し、健康度向上に向けて引き続き取り組んでいく必要があるため、継続して開催する。
	◎くにもと生き生き教室【CKP】	地域から要望のあった、地域課題（防災関連）の解決に役立つ講座を開催することで、国本地区の人が安心・安全かつ生き生きとした生活を送れるようにするとともに、受講者同士の交流を通して地域の絆を深めていく。	地区内在住の一般成人	9月	1回	【実施日】 令和5年9月2日 ～ 令和5年9月2日			【今年度の実施状況】 地区の各種団体や自治会長などの参加を促すことで、地域の安全・安心な暮らしのための防災意識の高揚に役立つ講座となった。今後は地域活動を行う人だけでなく、個人が防災を意識し、どのように関わっていくのかを認識させる必要がある。	【次年度の方針】 能登半島地震など災害が発生していることもあり、防災意識を啓発する講座を継続的に実施し、地域に浸透させる必要があるため、継続して開催する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	親子ワクワク教室【Vスタッフ】	親子での様々な体験を通して、子育ての悩みを解決するための知識を得るとともに、同世代の親子と触れ合い情報交換することで、家庭や地域内における教育力向上に役立てる。 また、保護者の講話を聞くことで、子育ての環境をより充実できるよう、子どもと保護者それぞれの健康管理について学ぶ。	市内在住の未就園児とその保護者	6～12月	6回	【実施日】 令和5年6月22日 ～ 令和5年12月13日			【今年度の実施状況】 親子ともに楽しめる内容とする中で、参加者からはおおむね好評を得ているが、より多くの親子に参加してもらえよう、内容や日程、周知方法などについて検討する必要がある。	【次年度の方針】 さまざまな体験等を通して同世代の親子と触れ合うとともに情報交換の場とすることで、地域の教育力を向上に繋げるため、継続して開催する。
	夏休みチャレンジ教室	小学生の夏休みの課題に役立つ工作や科学実験など、体験型の講座を開催することで、ものづくりや科学の楽しさを学ぶとともに、他学年・他校の児童との交流を通して仲間づくりを図る。	地区内小学校の児童	7～8月	2回	【実施日】 令和5年7月27日 ～ 令和5年8月2日			【今年度の実施状況】 実験や給手紙などの子どもが楽しめる内容としたことで、参加者からは大変好評を得た講座だが、参加者を更に拡大させるために、学校以外での周知方法について検討していく。	【次年度の方針】 学校では学べない内容を身近な生涯学習センターで体験できるとともに、他校の児童との交流も図ることができると、継続して開催する。
	くにもとyou・遊・club	地域で採れた食材を活かした料理やお菓子作り、親子で地域の良さや食の大切さを再確認することで、郷土愛の醸成や地域の活性化のきっかけ作りとする。	地区内小学校の児童	12～1月	2回	【実施日】 令和5年12月23日 ～ 令和6年1月20日			【今年度の実施状況】 地域の特産物を使った内容としたことで、地域理解のきっかけ作りとなり、参加者からの満足度も高い講座となったが、次年度以降は、材料費や講師などについて、十分な調整が必要のため、検討する。	【次年度の方針】 地区の小学生の地域理解や郷土愛の醸成のため、必要な講座であることから継続して開催する。
③ 地域課題の解決を促進する講座と学んだ成果を活動に生かす	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 国本中学校魅力ある学校づくり地域協議会の構成メンバーとして会議や行事に出席し、情報交換するとともに、当センターを会場に実施している学習支援事業「ありんこ学習室」などの実施について支援した。			【今年度の実施状況】 地域協議会に出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方針】 今後も継続して、地域協議会の委員として地域の教育力向上に取り組む団体への協力・支援を行っていく。
	◎10倍楽しむ国本塾【CKP】	地域人材が講師となり、歴史・文化と地域行事、特産品などを組み合わせた地域学講座を開催することで、地域の魅力を再発見し、郷土愛を醸成するとともに、その学習成果を地域課題解決のために還元できる人材の育成を図る。	地区内在住の一般成人	6～11月	5回	【実施日】 令和5年6月24日 ～ 令和5年11月25日			【今年度の実施状況】 地域の魅力を大谷石文化からの視点でとらえ、座学で学んだ内容を実際に現地学習で学ぶなど、満足度の高い講座となった。今後については、新規の参加者を増やすため、新たな視点からアプローチする内容となるよう、検討する。	【次年度の方針】 地域の良さを再認識し、学習の成果を還元できる人材を育成するため、継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数 各地域の取り組み 地域事業者の物を記念品やお礼の品に取り入れた。	【今年度の実施状況】 安定した実施委員の活動により、スムーズに運営することができた。			【次年度の方針】 継続して実施委員等と連携を図り、安定した運営を行うとともに、地域交流事業内容を充実させる。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針			
教育の持続的盤に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域	国本生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、文化活動の向上と生涯学習を推進する。	国本生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	<table border="1"> <tr> <th>出席団体数</th> <th>のべ来場者数</th> <th>特色</th> </tr> <tr> <td>20 団体</td> <td>約1,000人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・「くにもとまつり」として文化祭と地区農業祭を同時開催し、賑わいを創出している。 ・国本西小学校の「赤巾獅子舞」や文化財資料の展示で、地域の特色ある文化祭となっている。 </td> </tr> </table>	出席団体数	のべ来場者数	特色	20 団体	約1,000人	<ul style="list-style-type: none"> ・「くにもとまつり」として文化祭と地区農業祭を同時開催し、賑わいを創出している。 ・国本西小学校の「赤巾獅子舞」や文化財資料の展示で、地域の特色ある文化祭となっている。 	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>4年ぶりに例年通りの2日間での開催となったことから、多くの来場者で賑わい、地域の方に生涯学習事業を広く知っていただくことができました。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>次年度も2日間開催することとし、今年度参加を見送った団体にも積極的に参加してもらうよう声掛けをしていく。引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を存分に発表できる場を提供する。</p>
	出席団体数	のべ来場者数	特色											
	20 団体	約1,000人	<ul style="list-style-type: none"> ・「くにもとまつり」として文化祭と地区農業祭を同時開催し、賑わいを創出している。 ・国本西小学校の「赤巾獅子舞」や文化財資料の展示で、地域の特色ある文化祭となっている。 											
情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			<p>【今年度の実施状況】</p> <p>センター内に設置の掲示板を生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>今後も継続して、生涯学習センター内でサークルのチラシやポスターなどを掲示し、市民に対し生涯学習情報を提供する。</p>					
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）			<p>【今年度の実施状況】</p> <p>団体状況の問い合わせがほとんどだったが、相談者のニーズに応じた適切な紹介をするなど、学習相談や悩み解決支援、学習情報を行った。</p>	<p>【次年度の方向性】</p> <p>引き続き、相談者のニーズに応じた団体情報の紹介や施設情報への対応を丁寧に行い、学習中の課題や悩み解決のための支援をしていく。</p>					
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						4	7	0	0	0	11	16		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回		
成人対象事業		講座		回		人
シニア対象事業	4	講座	10	回	162	人
青少年対象事業	2	講座	4	回	56	人
子育て対象事業	1	講座	6	回	84	人
計	7	講座	20	回	302	人

令和5年度 富屋生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業が活発に展開がされており、今後も継続して「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。こうしたことから、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づき、地域資源の活用や課題解決に向けた取り組みの契機とするためとみや魅力発見・ガイド養成講座などへの参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため、生涯学習事業の充実を目指す。</p> <p>また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、子育て世代の親子を対象とした特色ある事業を展開していく。</p> <p>また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、子育て世代の親子を対象とした特色ある事業を展開していく。</p>	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針	
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	① スマート基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	8～2月	2回	【実施日】 令和5年8月30日 令和6年2月8日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 19人 0人 60代	【今年度の実施状況】 講師との事前打合せを行ったため、円滑な事業運営ができた。参加者を増やすため、効果的な周知を行う必要がある。	【次年度の方針】 今後もデジタル化を進めるにあたり、必要な講座であることから、継続して開催する。	
	② シニア講座	情報化や少子高齢化など、高齢者を取り巻く環境が変化している中、日常生活に即した課題解決に取り組むとともに、高齢者がいつまでも元気で心豊かに過ごせるよう、仲間づくりや生きがいづくりなどの支援を図る。	地区内の60歳以上の成人	10～12月	2回	【実施日】 令和5年10月26日 令和5年12月4日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 22人 0人 60代	【今年度の実施状況】 自治会単位や団体への勧誘を実施したが、参加が低調であり、募集のさらなる強化を検討する必要がある。	【次年度の方針】 講座内容(趣味や生きがい、食生活改善)等への満足度も高いことから、継続して開催していく。	
	とみや女性学	富屋地区の女性への教養、学習の場の提供を通して、地域のネットワークを広げるとともに、女性の方で地域力アップを図る。	富屋地区在住の成人女性	6～8月	3回	【実施日】 令和5年6月7日 令和5年8月1日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 45人 0人 60代	【今年度の実施状況】 防災やストレッチなど、多様な内容を開催し、参加者からの満足度は高かった。当日の欠席を考慮し、材料費がかかる講座は事前に集金が必要なたため、検討する。	【次年度の方針】 女性がいきいきと活躍するための知識を学び、地域で活動する仲間を作る講座のため継続して開催する。	
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 富屋生涯学習センター主催講座「とみや再発見」と「富屋小学校5年生の総合学習のフィールドワーク」時への引率及び説明を富屋小学校地域協議会メンバーとともに行った。	【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスの影響で予定していた引率者の人数が減ってしまったことから、余裕をもって人材確保をする必要がある。	【次年度の方針】 事前に小学校や引率者などと入念な打ち合わせを行ったことから、円滑に事業を実施することができた。今後も継続して、地域協議会の委員として地域の教育力向上に取り組む団体への協力・支援を行っていく。	
	とみや再発見【CKP】	富屋小学校に学ぶ児童が、自分たちの住んでいる地区の自然や歴史、文化、産業などについて自ら調べ、学習能力を高めるとともに、地域の素情らしさや魅力を知り、郷土愛の心を育てる。	富屋小学校児童	12～2月	4回	【実施日】 令和5年12月15日 令和6年2月29日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 富屋小学校 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 92人 92人 10代	【今年度の実施状況】 富屋小の5年生が、学習のテーマを自分で決め、地域の文化や史跡を調べ、成果を発表した。	【次年度の方針】 生涯学習センターと富屋小学校が連携し、富屋地区の歴史や文化財を子どもたちに学ばせ、郷土愛を育む貴重な場であるため継続して開催する。	
	タコづくり講習会	子どもたちの遊びの主流がゲームになっている現代において、地域の伝統的な遊びである皿あげを体験するための皿を自ら作成することにより、豊かな心と想像力を育むとともに、下野皿を後世に伝える。	富屋小学校児童	11～12月	2回	【実施日】 令和5年11月20日 令和5年12月3日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 富屋地区青少年育成会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 33人 27人 10代	【今年度の実施状況】 小学生にタコづくりを教えるため、育成会執行部が複数のタコの作り方を習得したことから、円滑な事業運営ができた。	【次年度の方針】 地域の伝統的な事業でもあることから、育成会が主催できることと併せて継続して開催する。	
親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」	乳幼児とその保護者を対象に、遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親同士のネットワークを促進し、家庭・地域における子育て環境の支援を図る。	就園前の乳幼児とその保護者	7～9月	3回	【実施日】 令和5年7月18日 令和5年9月26日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48人 24人 30代	【今年度の実施状況】 リトミックや夏祭りなど、多様な内容を実施したが、地区内には就園前の乳幼児が少ないことから、効果的な募集方法を検討する必要がある。	【次年度の方針】 受講者へのアンケートでは満足度がとても高く、親子のふれあいを深める機会の提供ができることと、同じ年代の子や親同士が交流できる機会作りが繋がることから、継続して開催していく。		
つ③ 地域課題の理解を促進する講座と学んだ成果を活動に	◎とみや魅力発見ガイド養成講座	「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため、地域住民が専門家の講義やグループワークを通して、自分の住む地域の特色を理解し、地域の魅力や課題に気づくとともに、中長期的な地域のあるべき姿を考えた提案とする。また、これらを後世に伝えるために、地域以外の住民にも広く受講者を募り、解読できる人材を育成する。	富屋の自然・歴史・文化財に興味のある方	6～7月	6回	【実施日】 令和5年6月15日 令和5年7月19日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 1 富屋地区まちづくり連絡協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 107人 0人 60代	【今年度の実施状況】 令和5年度はガイド養成講座の修了生の中から、『徳次郎信案内人』を第1号認定するなど実績を作ることができた。今後も多くの人に受講してもらえよう、地区内外にPRを継続していく。	【次年度の方針】 地域の魅力を伝える人材育成に繋がっているため、継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を作り上げることにし、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人(二十歳)が地域の人から学ぶ場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度新成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 各地域の取り組み 晃陽 21人 1回 ・「成人のつどい」の協力を地域団体のみに依頼した。 ・配慮が必要な富屋特別支援学校卒業生は、親同伴で式典に参加している。	【今年度の実施状況】 実施会場が変更となったが、実施委員等と連携を図ることで、式典および地域交流事業について、円滑に滞りなく開催することが出来た。 ※ 晃陽中学校区は、今年度は藤井生涯学習センターが担当した。	【次年度の方針】 引き続き、実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。 ※ 晃陽中学校区は、今年度は藤井生涯学習センターが担当した。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針		
						出展団体数	のべ来場者数	特色		【今年度の実施状況】		【今年度の方向性】		
域外教育統一的基盤の強化 市民の学習や活動・交流を支援する地	とみやふるさとまつり	地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。	富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民	11月	1回	29 団体	500 人	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外ステージにおいて、幼児・小・中学生やサークル活動の発表 ・センターを拠点として活動している団体や地域住民の作品展示 ・富屋地区の歴史や文化財などの写真・パネル展示 		<p>【今年度の実施状況】</p> コロナ禍前の状況に戻り、4年ぶりに通常開催となったことから、飲食関係の出店があった。地域を代表するイベントであることから、多くの団体が出展・出演し、より多くの地域住民が参加できるような事業となった。		<p>【今年度の方向性】</p> より多くの団体に出展・出演してもらい、さらに賑わいのある地域イベントとするほか、引き続き生涯学習団体が日頃の活動成果を十分に発表できる場を提供する。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例				<p>【今年度の実施状況】</p> 新型コロナウイルス感染症の影響により生涯学習登録団体の活動や団体登録数が減っていることから、生涯学習センター内の掲示板上に各種生涯学習団体のポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。		<p>【今年度の方向性】</p> 今後も継続して、生涯学習センター内に設置の掲示板上に各生涯学習団体のチラシやポスターなど掲示し、市民に対し生涯学習情報を提供する。		
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（：件）				<p>【今年度の実施状況】</p> 市民からの問い合わせに対して、マナビス等を確認して回答するなど、相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援を行った。		<p>【今年度の方向性】</p> 相談者のニーズに合わせ適切な対応を行い、学習相談や悩み解決を支援していく。		
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						2	3	0	1	0	6	13		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数	回	人	人	人
成人対象事業		講座		回		人
シニア対象事業	4	講座	13	回	193	人
青少年対象事業	2	講座	6	回	125	人
子育て対象事業	1	講座	3	回	48	人
計	7	講座	22	回	366	人

令和5年度 豊郷生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針
 豊郷地区においては、地域まちづくり協議会が主体となった各種まちづくり事業をはじめ、地域団体・学校との連携を軸とした各種団体が主体となり地域活動が活発に展開しているが、地域住民のコミュニティ意識や連帯意識の希薄化、少子・超高齢化や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力低下など、地域を取り巻く環境に様々な課題が生じている。
 このようなことから、多様化する地域ニーズや課題等を的確に捉え、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象とした講座を開催し、学びの喜びを通じた仲間づくり・生きがいづくりや郷土愛の醸成へとつなげるとともに、学んだ成果を地域づくりに活かせる環境を構築するなど、人間力や家庭の教育力の向上に資する事業に取り組む。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【V(スタッフ)】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要			令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 業地の域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	地域内の一般成人	9～2月	2回	【実施日】 令和5年9月6日 ～ 令和6年2月28日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 48人 0人 70代	【今年度の実施状況】 参加者がスマホの基本操作やWEBサイトの検索方法などを見える機会を提供することができた。	【次年度の方針性】 身近なスマートフォンの基本操作やWEBサイトを活用した情報収集の方法などを学ぶ機会を提供することは、市民のデジタルデバイス対策として有効であることから、次年度も継続し開催する。
	とよさと元気塾	情報化、国際化、少子高齢化など、高齢者を取り巻く生活環境は常に変化している。そのような中で、心豊かに過ごせるよう、仲間づくり、生きがいづくりを支援するとともに、地域社会を支える人づくりを目指す。	地区内在住の成人(60歳以上)	6～10月	5回	【実施日】 令和5年6月20日 ～ 令和5年10月17日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 158人 0人 70代	【今年度の実施状況】 高齢者のデジタルデバイス対策として初めてスマホ講座を取り入れたところ、受講者からの評価が高かったほか、健康づくりや特殊詐欺、音楽療法など、多様なテーマを提供することで、受講者の満足度が高い講座を開催できた。 今後は、受講者から体を動かさず講座を取り入れてほしいとの意見があったことから、座学ばかりにならないように体を動かすような講座を組み込む必要がある。	【次年度の方針性】 シニア世代を対象とした講座であり、市民のニーズが高いことから、プログラムを見直しながら次年度も継続して開催する。
② 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進	子育て広場	子育ての学習やクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。	就学前の幼児と保護者	6～12月	6回	【実施日】 令和5年6月22日 ～ 令和5年12月21日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 92人 47人 30代	【今年度の実施状況】 リトミックやヨガなど親子で参加できる内容だったが、参加者が少なかったことから、参加者のニーズを把握して、講座内容の見直しが必要である。また、外出機会が確保されたことから、参加者からは、満足度が高く好評だった。	【次年度の方針性】 親子の外出機会の確保のため、継続して開催するが、参加者のニーズを把握し、講座内容を変更するほか、参加者募集は市のLINEを活用するなど、デジタル活用を図る等、内容や実施方法を検討する。
	◎親子ら講座	家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。	市内在住の1～3歳児の保護者	9～10月	4回	【実施日】 令和5年9月14日 ～ 令和5年10月26日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28人 0人 30代	【今年度の実施状況】 ・グループワークを実施。講座内容が充実したほか、託児を設けたことで、講座に集中できて良かったとの声があり、参加者の満足度が高く、好評だった。また、自主サークルの立ち上げのため、連絡先LINEを交換するなど、親同士の交流が図られ、問題解決に向けて効果が得られた。	【次年度の方針性】 社会の中で孤立してしまう親子もおり、問題解決のためには必要な講座であるほか、参加者の目的が達成され、有意義な講座内容のため、継続して開催する。子ども家庭支援室と連携を図りながら、講座内容の充実を図る。
	わくわく体験教室	子どもの頃の体験や多くの人の出会いが、生きる力を育み人間力の向上を促すことから、学校、学年、学級を越えた仲間との交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。	地区内小学校4・5年生	6～9月	5回	【実施日】 令和5年6月3日 ～ 令和5年9月30日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 3回 帝京大学、本田技研、興隆がいのスポーツ協会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 146人 146人 10代	【今年度の実施状況】 市の出前講座や大学の出前講座、企業の出前講座などを活用することにより、日ごろ学校では体験することができないプログラムを提供することができた。	【次年度の方針性】 地区内には4小学校があるため、小学校の4年生と5年生を対象とした体験型の講座を通して、新しい仲間づくりにもつながる有意義な講座であることから、継続して開催する。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っている。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 ・豊郷中学校地域協議会の作成する「学校園カレンダール」を地域へ配布協力を行った。 ・豊郷中央小学校地域協議会の主催する「あいさつ運動」のポスターをセンター内に掲示し、来庁者に周知を行った。	【今年度の実施状況】 豊郷中学校地域協議会の作成する「学校園カレンダール」を地域へ配布したほか、豊郷中央小学校地域協議会の主催する「あいさつ運動」のポスターをセンター内に掲示した。	【次年度の方針性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会の要請や依頼に際しながら、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っている。	
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	◎まほろば探検塾	地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域の持つ魅力や課題に気づき、それを活かした地域の活動や課題解決につなげるとともに、学びを通じた仲間づくりを目指す。	地区内在住の成人	9～12月	4回	【実施日】 令和5年9月20日 ～ 令和5年12月13日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 138人 0人 70代	【今年度の実施状況】 地域資源である美術館と栃木県誕生150年をテーマにした構成としたが、地域密着型と地域に視点を広げられたものとのバランスが取れた内容となり、参加者からの満足度も高かった。	【次年度の方針性】 受講生の満足度が高く、地域を知ることや郷土愛を醸成する有意義な講座であることから、次年度も継続して開催する。
	防災力UP講座【CKP】	いつやってくるかわからない災害に備えるために防災に関する様々な知識を習得し、命を守る行動につなげるための地域防災力の向上を目指す。	地区内在住の成人	1月	1回	【実施日】 令和6年1月21日 ～ 令和6年1月21日 【連携実績】 連携団体数 【連携団体等名称(企業・学校含む)】 2 豊郷地区防災会、豊かな郷づくり推進協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 43人 0人 60代	【今年度の実施状況】 令和元年度台風19号による災害発生時にできたこと、できなかったことを振り返り、今後地域で取り組む課題について共有することができた。 また、ブロックごとに班分けを行い、グループワークを行ったことで、各ブロックごとの課題や今後の取り組みについても情報共有することができた。	【次年度の方針性】 地域の課題を共有したところであり、次のステップとして課題解決に向けた地域の今後の取組を考える機会を提供できるよう、次年度も継続して開催する。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人(二十歳)が地域のひととともに式典を伴ったことにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを育てるようになるとともに、新成人(二十歳)が地域のひとから学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人(二十歳)	1月	1日	中学校区 実施委員数 実施委員会実施回数 各地域の取り組み 豊郷 25人 2回 成人代表の希望を取り入れ、クラス担任の講師に加え、当時の校長先生を初めて来賓として招待した。	【今年度の実施状況】 クラスの誘導など、成人代表にあらかじめ式典等でお願したい役割をよく伝えておいたことから、写真撮影時の集合や退場等が混乱なく実施できた。	【次年度の方針性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、成人代表の希望を取り入れながら、安定した運営を行い、心に残るつどいとなるよう取り組んでいく。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針													
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価									
域④ 教 育 持 続 的 基 地 の 域 強 住 民 の 学 習 や 活 動 、 交 流 を 支 援 す る 地	豊郷まつり (センター文化祭)	センター利用団体の学習 成果の発表の場を提供す る。	豊郷生涯 学習セン ター利用 団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数		特色		【今年度の実施状況】 新型コロナウイルスが5類感染症に 移行してから初めての開催だったた め、来場者数を予測することが困難 だったが、多くの市民が生涯学習団 体の成果発表を観覧し、大変盛況で あった。				【次年度の方針】 生涯学習活動団体の成果がより多く の市民に発表できる機会を提供でき るよう、今後も「豊郷まつり」との 同時開催を継続していく。				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動 を啓発・支援し、生涯学 習に対する市民ニーズに 的確に対応するため、学 習施設や学習機会等の生 涯学習関連情報を収集す るとともに、その情報を 市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例				【今年度の実施状況】 ・生涯学習に関するチラシやホス ターを配架・掲示し、市民に情報提 供を行った。 ・配架依頼物が多いため、配架期間 を調整しながらできる限り多くの生 涯学習情報を提供した。				【次年度の方針】 今後も継続して、生涯学習センタ ー内で民間学習事業者や生涯学習に 関わる団体等のチラシやポスターを掲 示し、生涯学習情報を提供する。					
	学習相談	相談者のニーズに応じた 具体的な学習活動への引 き上げや相談者の活動の 質の向上、学習活動中の 問題や悩み解決の手助 けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳(件)				【今年度の実施状況】 生涯学習登録団体に関する問い合わ せがほとんどであったため、登録団 体一覧表の配布や団体の事務連絡者 の案内を行い、市民の学習への支援 を行った。				【次年度の方針】 引き続き、相談者のニーズに応じた 団体情報の紹介や施設情報への対応 を丁寧に行い、学習中の課題や悩み 解決のための支援をしていく。					
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易 問い合わせ							
						1	0	0	0	0	1	80							

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数		実施回数			
成人対象事業		講座		回		人
シニア対象事業	4	講座	13	回	308	人
青少年対象事業	1	講座	5	回	115	人
子育て対象事業	2	講座	10	回	134	人
計	7	講座	28	回	557	人

令和5年度 篠井生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切に、歴史と伝統が大切に守られてきた地域であり、まちづくり協議会とその構成団体である各種団体が主体となり地域活動を活発に行ってきた。しかしながら、少子超高齢化、コミュニティ意識の希薄化、団体役員の固定化や担い手不足など、さまざまな課題も生じている。このようなことから、学びを通して豊かな人間性を育み、地域コミュニティや地域教育の向上を図るため、「篠井地域ビジョン」の考え方にに基づき、地域教育の向上を図る講座、子育ての仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組み、地域の人材育成とともに「自然と共に伸び伸びと生きるまち 篠井」を目指す。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
生① 地域の 向住 上民 にの 習学 する 意欲 業の 高推 進と	輝き人生教室	余暇の有効活用、健康の維持促進、世代間交流を通して、健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。	高齢者	8～1月	8回	【実施日】 令和 5 年 8 月 22 日 ～ 令和 6 年 1 月 19 日		【今年度の実施状況】 小学校と連携し、昔あそびや手打ちうどんづくりなどの講座を通じて、高齢者と児童がふれあいがながら学べる場を提供することが出来た。参加者については、高齢者が主体であることから、参加増員よりも現状維持に努めていく必要がある。	【次年度の方向性】 小学校児童とのふれあい学習は、重要であり、小学校からも依頼があることから継続して開催する。
	【連携実績】		【参加者数】		【実施日】		【今年度の実施状況】 広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持・確保をすることが出来た。また、講座を通じて、参加者同士の横の繋がりを作ることが出来たほか、アンケートの結果については満足度の高い内容で講座を実施することが出来た。	【次年度の方向性】 参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、参加者のニーズに沿った内容で講座を企画・運営し、継続して開催する。	
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		【参加者数】		令和 5 年 6 月 27 日 ～ 令和 6 年 3 月 13 日			
	1	篠井地区松寿会連合会		合計		うち子ども			主な世代
			183 人	93 人		代			
② 家庭 教育 支 援 の 充 実 と 学 校 や 地 域 と 連 携 ・ 協 力 し た 教 育 活 動 の 推 進	ワクワク子育て仲間づくり	親子の絆や愛情を深め、心身の健康を育むとともに、受講生同士の交流を促進し、仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。	0歳児～3歳児までの未就園児とその保護者	6～3月	8回	【実施日】 令和 5 年 6 月 27 日 ～ 令和 6 年 3 月 13 日		【今年度の実施状況】 広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持・確保をすることが出来た。また、講座を通じて、参加者同士の横の繋がりを作ることが出来たほか、アンケートの結果については満足度の高い内容で講座を実施することが出来た。	【次年度の方向性】 参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、参加者のニーズに沿った内容で講座を企画・運営し、継続して開催する。
	【連携実績】		【参加者数】		【実施日】				
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		【参加者数】		令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 6 年 1 月 14 日			
	-			合計		うち子ども	主な世代		
				154 人	62 人	30代			
③ 地 域 力 を 育 み 活 動 を 支 援	少年大空教室	日常生活では経験できない多様な学習・体験を通じ、自主性や好奇心、考える力を養うとともに、他者との交流を通じて協調性や社会性の育成を図る。また、講座をおして、参加者に篠井地区の魅力を発信する。	篠井小学校の児童とその保護者および市内在住の小学生とその保護者	8～1月	5回	【実施日】 令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 6 年 1 月 14 日		【今年度の実施状況】 広報紙やチラシにより、呼びかけを行ったが、参加者数が定員に満たないものもあり、周知方法や内容の見直しを検討する必要がある。	【次年度の方向性】 参加者のニーズに沿った企画・運営を行い、継続して開催する。また、周知方法については、広報紙やチラシなどを活用し、市全体に呼びかけていく。
	【連携実績】		【参加者数】		【実施日】				
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		【参加者数】		令和 5 年 8 月 1 日 ～ 令和 6 年 1 月 14 日			
	-			合計		うち子ども	主な世代		
				41 人	22 人	10代			
◎ 地 域 力 を 育 み 活 動 を 支 援	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 ・ボランティア総務が奉仕活動の一環として、小学校の資料室の清掃や校庭の落ち葉撤去など、小学校児童と一緒に活動している。 ・生涯学習講座を通じて、地域の老人クラブと小学校児童が世代間交流を図っている。		【今年度の実施状況】 生涯学習講座を通じて、高齢者と小学校の世代間交流支援を行った。	【次年度の方向性】 今後も継続して、小学校の奉仕活動に協力していく。また、生涯学習講座についても、地域の老人クラブと小学校児童が世代間交流を図っていく。
	【連携実績】		【参加者数】		【実施日】		【今年度の実施状況】 地区内のほか、広報紙やチラシにより呼びかけを行うことで、参加者の維持・確保をすることが出来た。災害時対策の講座について、地域住民が積極的に参加できるように周知方法を工夫する必要がある。 （「スマホ基礎講座」と抱き合わせによる実施）	【次年度の方向性】 参加者の維持継続に努めるため、引き続き、市全体に呼びかけを行っていく。また、参加者のニーズや地域力を高めるための内容など、講座の内容を工夫しながら、継続して開催する。	
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		【参加者数】		令和 5 年 7 月 29 日 ～ 令和 6 年 2 月 7 日			
	-			合計		うち子ども			主な世代
			56 人	0 人	60代				
◎ 地 域 力 を 育 み 活 動 を 支 援	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年 成人（二十歳）	1月	1日	【実施日】 令和 5 年 7 月 29 日 ～ 令和 6 年 2 月 7 日		【今年度の実施状況】 実施会場が変更となったが、実施委員等と連携を図ることで、式典および地域交流事業について、円滑に滞りなく開催することが出来た。	【次年度の方向性】 引き続き、実施委員等と連携を図り、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。
	【連携実績】		【参加者数】		【実施日】				
	連携団体数	【連携団体等名称（企業・学校含む）】		【参加者数】		令和 5 年 7 月 29 日 ～ 令和 6 年 2 月 7 日			
	-			合計		うち子ども	主な世代		
				21 人	1 人	60代			

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価	今後の方針				
						出展団体数	のべ来場者数	特色						
基盤の強化的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の	篠井生涯学習センター文化祭	センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。	篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	21 団体	900 人	篠井生涯学習センター対象地域住民総ぐるみにより文化祭事業を展開し、地域文化の向上発展と生涯学習推進、地域住民の連携意識の高揚を図り、豊かで活力あるまちづくりに寄与することを目的に実施した。	【今年度の実施状況】 「秋まつり」「文化祭」の通常開催については、アフターコロナの影響もあり、出演団体等に減少があったものの、会場は賑わっており、円滑に開催することが出来た。	【次年度の方向性】 作品展やホール部門について、生涯学習団体および地域関係団体ほか、地域住民から参加を募るほか、「秋まつり」で運営する喫茶店や文化祭と共催のアトラクションなども地域全体で盛り上げていく。				
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 生涯学習センター内に設置している掲示板へ民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供した。			【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習講座など学習情報を提供した。	【次年度の方向性】 今後も継続して、生涯学習センター内で民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供する。				
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた学習相談や悩み解決の支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。				
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						0	0	0	0	0	0	7		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	講座	実施回数	回	人	人
成人対象事業						
シニア対象事業	2	講座	13	回	247	人
青少年対象事業	1	講座	3	回	41	人
子育て対象事業	1	講座	10	回	154	人
計	4	講座	26	回	442	人

令和5年度 宍川生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>当地区では、宍川地区将来ビジョンに掲げた将来像を実現するため、地域と行政が協働して取り組んでいるところである。このため、まちづくりを身近に感じてもらえる講座や地域の人が講師として活躍できる講座を開催し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高め、学んだ成果を地域に還元できる機会を提供するとともに、地域の学習拠点として内容の充実を図ることにより、地域力の向上を図っていく。</p> <p>また、当センターが保健福祉における南部地域の拠点であることから、まちづくり支援グループと保健福祉グループとで連携して、健康づくりや子育てに関する講座など特色ある事業を展開していく。</p> <p>(ア) 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつまでも明るく安心して生活するためには、健康で充実した生活と地域社会との関わりが必要であることから、健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を内容とする事業を推進する。 (イ) 地域・学校・家庭が連携・協力し、一体となった教育活動の推進 ・親子の絆を深めながら子どもの健全育成に繋げるため、親と子どもが触れ合う機会を提供していく。 ・地域団体や企業等と連携し、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成するとともに、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げるための学習活動を推進する。 ・保健福祉の拠点という当センターの特性を活かした講座を開催するなど、子育て世代の親子を対象に、より充実した子育てにつながる学習やふれあいの場を提供していく。 (ウ) 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 ・地域団体と連携しながら、地域の文化・歴史に係る学習等の機会を提供し、地域に対する理解や愛着を育むとともに、学んだ成果を地域に生かせる機会の提供につながる情報を充実させていく。 	

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマートフォン初心者向け講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器への使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住の60歳以上のスマホ初心者	9～11月	2回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年9月1日</p> <p>～</p> <p>令和6年1月22日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>1 宍川地区自治会連合会</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>38人 0人 70代</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>内容はとても分かりやすいと評判であった。応募数が定員をはるかに超えて、抽選で受講生を決定したが、それだけニーズが多いことから、回数を増やして多くの人に受講してもらおうべきか、検討する必要がある。また、単発ではなく、2回連続講座にし、スマートフォンに慣れってもらう必要があるため、実施方法等を検討する。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>デジタル化の推進には欠かせない講座であることから、市民ニーズや講座を主導しているみんなでもまちづくりの意旨を確認しながら事業を進めていく。</p>
	にこにこシニアずかたがわ	健康や生きがいづくりに係る知識の習得や運動等を実践し、家庭内でも手軽に実践することにより、シニア世代が健康で充実した毎日を過ごすためのきっかけづくりを目的とする。	宍川地区在住の60歳以上の方	7～11月	6回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年7月28日</p> <p>～</p> <p>令和5年11月9日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>-</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>94人 0人 70代</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>健康づくり、スポーツレクリエーション、薬の知識などを実施し、参加者からは概ね好評だった。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>地域から一定のニーズがある講座であるため、継続して開催する。</p>
	ヘルシー料理教室	家庭内で料理を手軽に取り組むことができ、健康増進に繋がる調理実習を地域健康づくり団体等と連携して企画し、家庭生活での充実を図る。	宍川地区在住者	7～12月	4回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年8月3日</p> <p>～</p> <p>令和6年2月8日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>-</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>46人 0人 -</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>開催するにあたって館内掲示及び回覧で告知しているが、回覧が滞ることにより参加を希望する市民に対し、情報が行き届かない事例が見られた。今後は、回覧の時期を早めるなど告知の在り方について検討する。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>地域から一定のニーズがある講座であるため、継続して開催する。</p>
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	親子ふれあい広場	親子のスキンシップを通じて、健やかな親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。	乳幼児とその保護者	6～2月	8回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年6月12日</p> <p>～</p> <p>令和6年2月28日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>-</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>140人 72人 30代</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>ベビーダンスや乳歯のお手入れなど、様々な内容で実施し、企画運営は円滑に実施できたが、若干定員が割れた回があったことから、今後は、募集の仕方工夫が必要である。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>子育て支援の一環とした講座であり、今後のニーズも見込まれることから、継続して開催する。</p>
	親子エンジョイ講座	親子で触れ合いながら楽しく体験することにより、家庭教育や子育て・子育ての充実につなげる。	宍川地区内在住の小学生とその保護者	廃止	廃止	<p>【実施日】</p> <p>令和 - 年 - 月 - 日</p> <p>～</p> <p>令和 - 年 - 月 - 日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>-</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>-人 -人 -</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>青少年対象講座であり、連続講座として実施していた「ふるさと教室」と統合し、単発講座として実施することとした。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>左記のとおり、「ふるさと教室」に統合する。</p>
	ふるさと教室	地域団体や企業等と連携しながら、地域内の自然環境・歴史文化や工作など幅広いジャンルの学習の機会を提供することにより、子どもたちの連帯感や共同意識を醸成し、将来の地域まちづくりを担う人材に繋げる。	宍川地区内在住の小学生	8～11月	4回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年8月19日</p> <p>～</p> <p>令和6年1月14日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>1 西山文化財愛護会</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>8人 3人 10代</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>勾玉づくりを実施し、参加者からは大変好評だったが、申込みが予想より少なかったことから、開催時期等について検討する必要がある。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>地域に愛着を持ってもらうための講座であることから、継続して開催する。</p>
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	<p>令和5年度活動事例</p> <p>各小中学校の地域協議会に出席し、情報提供等を行った。</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>各小中学校の地域協議会に出席し、情報提供等を行った。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む、団体の活動や学校と地域との交流事業について、地域のニーズを伺いながら、支援していく。</p>	
みんなのたのしみ達成事業	「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「宍川さんぽ」を活用し、「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。	宍川地区在住者	11月	3回	<p>【実施日】</p> <p>令和5年11月13日</p> <p>～</p> <p>令和5年11月25日</p> <p>【連携実績】</p> <p>連携団体数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】</p> <p>2 宍川地区まちづくり協議会（歴史文化部会）、宍川地区歴史と文化の会</p> <p>【参加者数】</p> <p>合計 うち子ども 主な世代</p> <p>39人 0人 -</p>	<p>【今年度の実施状況】</p> <p>宍川の石碕についての講義や、現地見学を実施したところ、定員以上の申込みがあり、参加者からは好評だった。</p>	<p>【次年度の方針】</p> <p>地域から一定のニーズがある講座であるため、継続して開催する。</p>	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針	
③ 地域理解促進を促す講座と学んだ成果を活動につなげる	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、式典を実施したが、さらに円滑に実施するために、会場等を検討していく。		【次年度の方針性】 継続して実施員等と連携を図るほか、会場等を検討することで、成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。	
	ゆず染め教室（上河内地区との連携事業）	・他地区の特色を学び、人的交流する機会を創出することで、改めて、地区内の特色や気づきを促すことができる学習の機会を企画する。 ・地区間での技術貿易（技術や知恵、人材交流など）の活性化を図る。	宍川地区在住者	7月	1回	【実施日】 令和5年7月18日 ～ 令和5年7月18日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 2 宍川地区まちづくり協議会、上河内地区まちづくり協議会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 6人 0人 60代				【今年度の実施状況】 当センター調理実習室での開催では人数に制約があり、多くの参加希望者の参加が見込めないことから、実施方法等を検討する。		【次年度の方針性】 上河内地区との地域交流事業の一環でもあることから、継続して開催する。	
④ 持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基盤の強化	★目指せ1姿人（すがたびと）講座	厚生労働省が定める3月1日から3月8日までの「女性の健康習慣」にあわせ、宍川地区においても女性の心や身体の健康増進を図る。	高齢生涯学習センターを利用されていない世代で18歳以上の女性	2～3月	3回	【実施日】 令和6年2月24日 ～ 令和6年3月9日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 - 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 28人 人 30代				【今年度の実施状況】 普段生涯学習センターの利用が少ない年代をターゲットに内容と日時とチラシ配用先も工夫し企画した結果若い世代の応募者が多数であった。		【次年度の方針性】 応募者多数であったため今後も需要が見込まれ、利用の少ない20～40代の生涯学習センター利用者の確保を図るため、継続して実施する。また、3回連続講座により、参加のハードルがあがってしまったため、来年度は1回で充実した講座企画を目指す。	
	宍川地区文化祭	特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。	地区内一般市民及び宍川生涯学習センター利用団体	11月	1回	【今年度の実施状況】 ・新型コロナウイルスの5類移行に伴い、4年ぶりの平時開催内容となり、多くの市民が生涯学習団体の成果発表を観覧し、大盛況で賑やかな文化祭となった。 ・久しぶりの平時開催で運営側が運営方法等に戸惑いながら進出し、展示・アトラクション・模擬店等、無事開催できた。特に地域間交流事業における「新たな文化に触れる機会創出」として、上河内地区ブース出展及びスペシャルイベント（歌うま高校生による歌謡ショー、ポピュラーショー）が大反響だった。				【今年度の実施状況】 今年度同様に地域の特色あるアイディアや意見を活かして、地域住民同士が文化祭を楽しみ、かつ生涯学習活動団体の成果がより多くの市民に発表できる機会を提供できるよう工夫を重ねる。			
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供している。				【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座や学習情報を提供した。		【次年度の方針性】 継続して、センター内に設置している掲示板での学習情報の提供等を行うっていく。	
学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	【今年度の実施状況】 相談の多くが、生涯学習登録団体に關するものであったことから、登録団体一覧表の配用や団体の事務連絡者への案内を行った。				【今年度の実施状況】 相談の多くが、生涯学習登録団体に關するものであったことから、登録団体一覧表の配用や団体の事務連絡者への案内を行った。		【次年度の方針性】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどをを行う。		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数	講座数	実施回数	人数	人数
成人対象事業	1	講座	3	回	28	人
シニア対象事業	5	講座	16	回	223	人
青少年対象事業	1	講座	1	回	8	人
子育て対象事業	1	講座	8	回	140	人
計	8	講座	28	回	399	人

令和5年度 雀宮生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
地域の生涯学習の拠点として、幅広い世代を対象に「学び」の機会を提供し、学んだ成果が地域に還元され、地域活動が活発に展開されるよう、以下の考え方に基づき、「人づくり」と「地域づくり」の観点から生涯学習を推進する。	
(ア)	ものづくりや体験活動を通して、仲間との連帯感や責任感を養い、リーダーシップを醸成し、次代を築く「青少年の健全育成」を図る。
(イ)	子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を促し、「家庭教育支援」を図る。
(ウ)	心身ともに健康で充実した高齢期を過ごせるよう、健康づくりや趣味・教養の習得を支援し、「高齢者の生きがいづくり」の定進を図る。
(エ)	雀宮の文化や歴史など、地域の資源や魅力を再認識し、地域への理解や愛着を深め、「地域コミュニティの強化」を図る。

★：令和5年度新規事業、◎：令和5年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	10月～11月	2回	【実施日】 令和5年10月2日 令和6年1月26日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 38人 0人 60～70代		【今年度の実施状況】 募集開始早々に定員に達したことから、ニーズは高い。また、みんなでまわって学ぶというスタイルが好評で、参加者が初心者からある程度知識がある方まで混在していたことや、何度かスマホ講座に参加しているが、前回学んだことを忘れてしまうことから、繰り返し学習したいという方もいたため、もっと細かくレベル分けをした内容など、講座内容を検討していく。	【次年度の方針性】 応募者が多く、市民ニーズが高いことや、市民のデジタルデバイス対策として有効であることから、今後も継続して開催する。また、今年度はほぼ同じ内容を、2回、別々の方を対象に行ったが、来年度は1回目、2回目とも同じ方を対象に行い、2回目は、前回のおさらいと少しレベルアップした内容を行うことも検討していく。
	さわやか倶楽部【Vスタッフ】	豊かな体験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。	雀宮地区内の60歳以上の方	5～11月	6回	【実施日】 令和5年5月30日 令和5年11月21日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 233人 0人 70代		【今年度の実施状況】 新型コロナウイルス感染症が落ち着く中で、館外学習の開催や本市の出前講座等を活用し、多様な内容の講座を実施することができた。毎年、リピーターの受講者が1/3ほどいることから、あまりかぶらない内容を企画する必要がある。	【次年度の方針性】 参加者の満足度も高いことから、引き続き興味をもてる講座を企画し、継続して開催する。
	ライフアップセミナー【CKP】	社会全体のデジタル化、進展するグローバル化に興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通じた新たな学びを促す機会を図る。	雀宮地区内の一般成人	7月	1回	【実施日】 令和5年7月20日 令和5年7月20日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 20人 0人 70代		【今年度の実施状況】 参加者から求められているニーズに合わせた研修内容で実施することが出来た。受講希望者が多いことから、より多くの方が受講できる仕組み作りが必要であるため、検討する。	【次年度の方針性】 社会のデジタル化が進む中、スマートフォンの基本的な操作は日常生活を便利にするために必要であることや、参加希望者も多いことから、継続して開催する。
	雀宮の歴史を学ぶ	地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発見し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。	雀宮地区内在住者	11月	1回	【実施日】 令和5年11月12日 令和5年11月12日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 雀宮郷土史研究会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 29人 0人 70代		【今年度の実施状況】 所要時間・見学箇所ともに適正であったが、見学する史跡の新たな掘り起こしが必要であるため、検討する。	【次年度の方針性】 地区文化祭・収穫祭の催しとして雀宮地区まちづくり推進協議会と共催で実施することにより、地域住民が地域の歴史に目を向け、郷土愛の醸成に寄与していることから、継続して開催する。
老家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	ちゅんちゅん親子ふれあい広場（親子ふれあい編）	親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。	未就学児とその保護者	7～12月	7回	【実施日】 令和5年7月13日 令和5年12月7日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 宇都宮市家庭教育オピニオンリーダー会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 203人 108人 30代		【今年度の実施状況】 定員いっぱいを受講者を確保することができた。人形劇鑑賞や親子フィットネスでは、マットを用意し参加者が過ごしやすい活動状況を構築した。今後は、運動や季節の行事等、多様な内容の講座を企画していく。	【次年度の方針性】 核家族世帯が多い中、親子のスキンシップや親子の交流の場が必要であることから、継続して開催する。
	青少年セミナー	自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なにかまの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育てる。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	7～8月	5回	【実施日】 令和5年7月22日 令和5年8月18日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 青少年指導員、おもちゃのまちバンダイミュージアム、栃木県東海漁正利用推進協議会、オカリナ准 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 59人 59人 10代		【今年度の実施状況】 内容的には充実しており、参加者には大好評であったが、参加者数が少なく、また学校に偏りがあったことから、今後は、周知方法や募集方法を工夫する必要がある。	【次年度の方針性】 学校の枠を超えたなにかまづくりを促進するほか、交流を通して、地域を支える人材を育成することができると、継続して開催する。
	ちゅんちゅん親子チャレンジ	親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	雀宮地区内の小学生（1～3年生）とその保護者	8月	1回	【実施日】 令和5年8月19日 令和5年8月19日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 栃木県防災館、（一社）うつのみやシティガイド協会 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 22人 11人 30代		【今年度の実施状況】 小学校低学年の子供と親同士の共同作業や共通体験ができ、参加者からは好評であったが、定員40名のところ、参加者が親子11組22名と少なかったことから、より多くの応募があるよう、企画や講座の周知方法等を検討していく必要がある。	【次年度の方針性】 今後も親子の絆と地域内の交流を深めるため、継続して開催する。
	地域わくわく子ども塾	雀宮地区の特性を生かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくりや体験学習を通して、知識・技術を習得することで、自立心の向上やリーダーシップの精神を育てる。また、世代間の連帯感や絆・愛の精神を深め、地域づくりの礎を築いていく。	雀宮地区内の小学生（4～6年生）	8月	2回	【実施日】 令和5年8月2日 令和5年8月10日 【連携実績】 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 宇都宮工業高等学校、陸上自衛隊宇都宮駐屯地 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 35人 35人 10代		【今年度の実施状況】 抽選を行う講座が発生したが、参加者が楽しかったと思える満足度の高い結果を得ることができた。今後は、夏休み期間の開催が妥当であることから、宇都宮工業高校や自衛隊との日程調整や講座内容について早めの協議を行い、円滑に実施するよう努める。	【次年度の方針性】 地域内に施設（宇都宮工業高校、自衛隊）と連携しながら講座を実施することで、地域を知ることに役立つことから、楽しさが味わえるような内容を企画し、継続して開催する。
魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 ・1中学校、3小学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力支援を行った。 ・雀宮中央小学校の雀央サミット及び雀央フェスタに地域協議会委員として参加した。		【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会会議に出席し、情報交換を行ったほか、雀宮中央小学校の雀央サミット及び雀央フェスタへの参加するなど、子どもたちの交流も図った。	【次年度の方針性】 今後も継続して、地域協議会の委員として協力支援を行っていく。	

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績				評価		今後の方針	
③ 地域理解の促進を促す講座と学んだ成果を活動につなげる	I LOVE雀宮講座【CKP】	自分の住む地域の魅力や課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。	雀宮地区内の成人	2月	2回	【実施日】 令和 6 年 2 月 1 日 ～ 令和 6 年 2 月 1 日				【今年度の実施状況】 定員30名（現地視察）のところ、応募者数が22名であることから、より多くの方に参加してもらうため、雀宮地区まちづくり推進協議会と連携し講座内容や周知方法を検討する必要がある。		【次年度の方針性】 より多くの方に参加してもらい、自分の住む地域の魅力に気づいてもらうため、雀宮地区まちづくり推進協議会と連携を深めながら、事業を継続して開催する。	
	二十歳を祝う成人のつどい	成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 協賛事業を活用し、地元企業等と協力して、成人（二十歳）へ記念品を配付することができたほか、従来の実施内容の様に、成人（二十歳）による地域交流事業を実施するなど、滞りなく運営することができた。		【次年度の方針性】 引き続き、実施委員と連絡調整を密に行い、有意義な協賛金使途を検討していく。また、実施委員会への成人（二十歳）の参加・開催方法を検討するなど、安定した運営を行うとともに、地域交流事業内容を充実させる。	
④ 基盤的強化に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育	雀宮地域文化祭・収穫祭	「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。	雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体	11月	1回	出展団体数	のべ来場者数	特色	【今年度の実施状況】 4年ぶりにコロナ禍前の実施形態に戻したが、展示・アトラクション・模擬店等の参加がコロナ禍以前より少なかったため、飲食物等の終了が早く、不滞の音が多かった。今後は、積極的に生涯学習団体等に参加してもらおうよう、努めていく。		【次年度の方針性】 展示・アトラクション・飲食店の充実を図り、従来のような賑わいと活気のある文化祭・収穫祭を目指していく。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、講座やイベントなどのポスターやチラシなどの配架・掲示などを行い、その情報を市民に提供する。				【今年度の実施状況】 センター内に設置の掲示板に生涯学習団体の講座やイベントなどのポスターやチラシを配架・掲示し、学習情報を提供した。		【次年度の方針性】 市民の生涯学習意識の向上のため、今年度も継続して、生涯学習センターの講座やイベントなどのチラシやポスターをセンター内に配架・掲示し、学習の周知を図っていく。	
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みへの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件） 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 簡易問い合わせ 0 0 0 0 0 0 17				【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて、丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みへの解決に向けた支援を行った。		【次年度の方針性】 学習相談における相談を受けた際には、関係機関・団体等と連携を図り、対応していく。また、相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みへの解決を支援していく。	

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数
	講座数	実施回数		
成人対象事業		講座	回	人
シニア対象事業	5	講座	12 回	366 人
青少年対象事業	2	講座	7 回	94 人
子育て対象事業	2	講座	8 回	225 人
計	9	講座	27 回	685 人

令和5年度 上河内生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針

上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、恒人の要望に添える事業と社会の要請に添える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。

(ア) 住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学びことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。
 (イ) 「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支えるための講座を実施する。
 (ウ) 地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。
 (エ) ICT社会の到来に伴い、地域住民誰もがスマートフォンを設備せず身近に感じ、有用な生活情報を入手し快適な暮らしを送るとともに、災害情報などを入手し安全安心な暮らしが送れるよう情報リテラシーの向上を図る講座を実施する。

★：令和5年度新規事業、 ◎：令和5年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
① 地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進	◎スマートフォン講座	地域住民の情報リテラシーの向上を図るため、スマートフォンが身近に感じる内容を含めるなど、幅広い世代の地域住民が参加できる内容とする。	市内在住・在勤の成人	8～3月	4回	【実施日】 令和5年8月29日 ～ 令和6年3月6日		【今年度の実施状況】 スマホの基礎操作や、地域内交通予約・配車システムなど、多様な内容を実施した。今後は、基礎講座のほか、受講後の振り返り講座など、受講者が継続して受講できる場を設けるほか、電子申請サービスなどのオンラインサービスについても周知できるよう、内容を検討していく。	【次年度の方針性】 地域からのニーズが高く、地域住民の情報リテラシーの向上を図るため必要な講座であることから、継続して開催する。
	ライフアップセミナー かみかわち	健康、生活、歴史、文化、国際交流の5つの分野を柱に、専門性を高めつつ、地域住民のニーズや時宜を反映した内容とする。	市内在住・在勤の成人	6～2月	8回	【実施日】 令和5年6月21日 ～ 令和6年2月21日		【今年度の実施状況】 受講生が関心を得られるよう、ライフアップセミナー運営委員と協議・検討し、様々な講座内容を決定しており、参加者からの満足度も非常に高い講座となっている。今後は講座を地区内外に幅広く周知できるよう、更なる周知手法を検討していく。	【次年度の方針性】 地域の参加者やライフアップセミナー運営委員から強い継続の希望があり、地域の学びに大きく寄与する講座であることから、継続して開催する。
	◎★ゆずのアロマでリラクゼーション講座	上河内地区まちづくり協議会との共催で、ゆずのアロマを活用し、アロマを通して、心身のケアを学ぶ。	市内在住・在勤の成人	12月	2回	【実施日】 令和5年12月9日 ～ 令和5年12月9日		【今年度の実施状況】 上河内地区まちづくり協議会と連携し、昨年度から継続してゆずのアロマを活用したヨガ講座を実施しており、今後は、ノウハウを培ったまちづくり協議会が講座実施を担えるよう、一定の道筋を立てることができた。	【次年度の方針性】 上河内地区まちづくり協議会の主催講座として実施予定。
② 活動家の歴教推進支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育	◎子育て講座	上河内地区子育て支援会議と連携し、子育てや家庭教育の学びの場を提供するほか、子育て中の保護者が情報交換できる機会を提供する。	市内在住の未就学児とその保護者	6月	3回	【実施日】 令和5年6月15日 ～ 令和5年6月29日		【今年度の実施状況】 親子のふれあいや子育ての学びのほか、参加者同士の交流の場にもなったとの意見も見られ、参加者からの評価は概ね好評だった。参加者の半数以上が地区外からの応募であり、地区内の未就学児とその保護者の参加を促すため、地区内の児童施設等と連携し、更なる事業周知に努める必要がある。	【次年度の方針性】 子育て中の保護者が家庭教育について学び、情報交換ができる場を提供するほか、地区の児童施設や保健師、保育士との連携により、保護者が子育ての悩み等を相談できる場を設けることで、地区をあげて子育てを応援する気運を醸成するため、継続して開催する。
	◎子ども体験教室	上河内民俗資料館と連携し、地域の魅力を再発見する内容に加え、郷土産物の醸成を図るとともに、幅広い分野を学べる内容とするほか、参加者同士の交流を通して、仲間づくりを促進する。	市内在住の小学生とその保護者	7月	4回	【実施日】 令和5年7月23日 ～ 令和5年7月23日		【今年度の実施状況】 土器づくりの体験だけでなく、上河内地区の遺跡の説明や、実際に地区内の遺跡で出土された土器を間近に観察できたことなどから、地元に残された歴史に興味を持つきっかけとなる講座となった。	【次年度の方針性】 小学生版の地域学講座として、より地域を学ぶプログラム内容に変更するとともに、「上河内ふるさと教室」と改名し、継続して開催する。
	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組み団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 上河内中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の委員として協力・支援を行った。		【今年度の実施状況】 地域協議会に出席し、情報共有・意見交換等を行った。	【次年度の方針性】 引き続き、魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実	ゆず染め講座【CKP】	受講者のゆず染め体験を通して上河内地区特産のゆずを活用した「ゆず染め」を新たな地域文化として普及啓発を図るほか、ゆずを活用した地域活性化、地域コミュニティの再構築、地域ブランド力の向上を図る。	市内在住・在勤の成人	12月	2回	【実施日】 令和5年12月9日 ～ 令和5年12月9日		【今年度の実施状況】 上河内地区まちづくり協議会と連携し、昨年度から継続してゆず染め講座を実施しており、今後は、ノウハウを培ったまちづくり協議会が講座実施を担えるよう、一定の道筋を立てることができた。	【次年度の方針性】 上河内地区まちづくり協議会の主催講座として実施予定。
	いろはゆず×モイストホプリ・ゆずグミ講座【CKP】	小学生とその保護者を対象に、上河内地区特産の「ゆず」の魅力を広げ発信するほか、ゆずを丸ごと使い切ることで、SDGsの意識啓発を図る。	市内在住の小学生とその保護者	中止	中止	【実施日】 令和5年 - 月 - 日 ～ 令和5年 - 月 - 日		【今年度の実施状況】 調理実習を伴う講座を計画したが、地区内の小学校でインフルエンザ等の感染症患者が急増したことから、安全を考慮して中止した。	【次年度の方針性】 上河内地区まちづくり協議会主催講座として実施予定。
	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域のひととともに式典を作り上げることに伴い、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持っていくとともに、新成人（二十歳）が地域のひとから学べる場、地域人繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区 実施委員数 14人 実施委員会実施回数 1回 各地域の取り組み 地域の授産施設と協力し、ゆずのマドレーヌなど、地域の特産品を使用したお菓子を新成人へ配布した。		【今年度の実施状況】 会場や当日の運営に関して、実施委員等と密な調整を図り、円滑に式典を運営した。	【次年度の方針性】 継続して実施委員等と連携を図り、二十歳の成人が地域社会の一員としての自覚や感謝の気持ちを育む式典を開催する。

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針								
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針			
盤④の持続的に地域住民の学習や活動・交流を支援する地域教育の基	上河内地域文化祭	地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方が日ごろの学習成果をステージ発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。	上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民	11月	1回	31	団体	1,266	人	地区内小学校や中学校だけでなく、地区内の幼稚園や保育園の児童の作品も展示しており、子どもから高齢者まで、幅広い世代が参加する事業となっている。	【今年度の実施状況】 上河内民俗資料館、上河内図書館の企画展を同時開催し、地区全体で地域文化の向上を図る機会とした。	【次年度の方針】 今後も地区内の各種施設や団体と連携し、地域全体で地域文化の向上と生涯学習推進の気運を高めていく。		
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例			【今年度の実施状況】 生涯学習に関する掲示板を設置し、センターや地区内施設が実施する生涯学習講座を案内するほか、市や近隣自治体の美術館、博物館等の企画展の情報、希望する生涯学習団体の情報を提供している。	【次年度の方針】 引き続きセンター内に生涯学習に関する掲示板を設置し、センターや地区内施設が実施する生涯学習講座を案内するほか、市や近隣自治体の美術館、博物館等の企画展の情報、希望する生涯学習団体の情報を提供していく。				
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績 内訳（件）			【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じて丁寧な対応を行い、必要な情報を正確に提供し、学習活動中の問題や悩みの解決に向けた支援、学習情報の発信を行った。	【次年度の方針】 相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援する。また、登録団体の学習活動などを積極的に周知することで、活動の質や学習意欲の向上を図る。				
						来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ		
						0	0	0	0	0	0	7		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業		講座	回		人	
シニア対象事業	4	講座	13	回	266	人
青少年対象事業	1	講座	1	回	20	人
子育て対象事業	1	講座	3	回	59	人
計	6	講座	17	回	345	人

令和5年度 河内生涯学習センター事業計画・事業実績

基本方針	
<p>身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。</p> <p>(ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。 (イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。 (ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。 (エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。</p>	

★：令和5年度新規事業、 ◎：令和5年度重点事業、 【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、 【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針						
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針	
① 業地域の推進 住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する	スマホ基礎講座	市民へのデジタルデバイス及びデジタル機器の使用への対応として、身近なスマートフォンの基本操作を学び、利用技術の向上を図る。	市内在住者	9～2月	2回	【実施日】 令和5年9月28日 ～ 令和6年2月20日			【今年度の実施状況】 受講者がすぐに定員となり、人気のある講座である。スマホの基本操作、検索方法などを覚える機会を提供することができた。 3週間前に、自治会回覧での周知を行ったが、自治会での回覧に時間差があり、申込開始日以降に見た市民の方もいたことから、回覧するタイミングを見直す必要がある。		【次年度の方向性】 あらゆる場で、スマホを活用したサービスや情報収集など、デジタル機器が日常生活を送るのに必要な物となっていることから、学ぶ機会を提供するため、継続して開催する。	
	◎かがやくセミナー	受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い生き甲斐のある豊かな人生を過ごす力を身につける「仲間づくり」と地域活動等に関心を持つきっかけづくりを推進する。※館外学習あり	市内在住・在勤している成人の方	7月	2回	【実施日】 令和5年7月13日 ～ 令和5年7月13日			【今年度の実施状況】 スマホの基本操作、検索方法などを覚える機会を提供することができた。 新型コロナウイルス感染症対策の一環として地域限定で周知し、参加者が少なかったことから、周知方法を見直す必要がある。		【次年度の方向性】 あらゆる場で、スマホを活用したサービスや情報収集など、デジタル機器が日常生活を送るのに必要な物となっていることから、学ぶ機会を提供するため、継続して開催する。	
	子育て広場	子育ての学習を通して親子のふれあいを深め、情報交換の場を提供し、「仲間づくり」・「ネットワークづくり」を推進するとともに、新たに両親が参加できる仕組みを取り入れる。※相談タイムあり	市内在住・在勤の乳幼児とその保護者	7月	2回	【実施日】 令和5年7月25日 ～ 令和5年7月25日			【今年度の実施状況】 リトミックや運動会など親子で楽しめる内容とし、参加者からは、満足度が高く好評だったが、まだ、新型コロナウイルス感染症対策の一環として地域限定で周知し、参加者が少なかったことから、周知方法を見直す必要がある。		【次年度の方向性】 親子でふれあえる機会や若年層のコミュニケーションの場であることから、継続して開催する。	
	オモシロ夏休み	子どもたちが「学ぶ楽しさ」を感じ、子どもたちの「自ら考える力」をはぐくむとともに、「仲間づくり」を推進する。	市内在住・在学の小4年生～6年生	8月	2回	【実施日】 令和5年8月4日 ～ 令和5年8月22日			【今年度の実施状況】 企業や大学と連携した講座を実施し、参加者からは、満足度が高く好評だった。新型コロナウイルス感染症対策の一環として地域限定で周知し、参加者が少なかったことから、周知方法を見直す必要がある。		【次年度の方向性】 子どもたちが仲間づくりの楽しさを学ぶとともに、学習意欲の向上を図るため、継続する。	
② 家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進	魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援	魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。	地域団体	通年	随時	令和5年度活動事例 魅力ある学校づくり地域協議会主催の古里・田原未来塾への支援を行った。			【今年度の実施状況】 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行った。		【次年度の方向性】 地域に根差した活力ある教育力向上に取り組む団体の活動や学校と地域との交流事業について、継続的な支援を行っていく。	
	いきいき河内発見講座	河内の地域資源を学ぶことによって地域の良さを再発見し、地域活動に関心を持つきっかけづくりを推進する。	市内在住・在勤している成人の方	6月	2回	【実施日】 令和5年6月17日 ～ 令和5年6月17日			【今年度の実施状況】 河内地区まちづくり協議会との連携を図り、学習目標に沿ったテーマを検討することができた。引き続き、魅力ある新たな地域資源を活用した講座を取り入れる。		【次年度の方向性】 次年度も、まちづくり協議会と共催事業とするため、継続して開催する。	
③ 仕組み理の解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる	二十歳を祝う成人のつどい	新成人（二十歳）が地域の人とともに式典を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、新成人（二十歳）が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。	令和5年度成人（二十歳）	1月	1日	中学校区	実施委員数	実施委員会実施回数	各地域の取り組み	【今年度の実施状況】 今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を行わなかったため、当センター職員のみで対応し、式典等を滞りなく行うことが出来たが、依然、3中学校をセンター職員のみで対応することは負担が大きい状況である。担当者の負担を減らすため、従事者に情報・手順等を記載した資料づくりを行った。今後も、実施委員等と連携を図り、円滑に運営するよう努める。		【次年度の方向性】 引き続き、関係課と連携を図るとともに、更なる職員の負担軽減に努め、安定した式典等の運営を行っていく。
						古里	22人	1回	◎	集合写真等をQRコードから申し込めるようにし、成人者による写真送付用封筒の宛名書きの負担をなくすことが出来たとともに、その分の時間を地域交流事業に有効に活用することが出来た。		
						田原	21人	1回	◎			
						河内	25人	1回	◎			
						合計	うち子ども	主な世代				
						76人	2人	70代				

重点項目	事業名	事業の概要				令和5年度事業実績・評価・今後の方針							
		内容	対象	時期	回数	事業実績			評価		今後の方針		
④ 教育の持続的基盤に地域住民の学習や活動、交流を支援する地域	河内地域文化祭	河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。	団体及び一般市民	10月	1回	出展団体数	のべ来場者数		特色	【今年度の実施状況】 河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施した。	【次年度の方向性】 引き続き、河内地域内の文化の祭典を支援していく。		
					24 団体	100 人		河内地域内の芸術文化活動に係る人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、文化の祭典を実施することで地域の芸術の向上に取り組む。					
	情報収集・提供	市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。	全市民	通年	随時	令和5年度活動事例							
					<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター内に設置している掲示板へ、民間学習事業者のチラシやポスターを掲示し、生涯学習情報を提供するため、センター内、学習事業者などのチラシやポスターを掲示した。 生涯学習サークル団体などの活動成果の発表の場として、無料展示スペースを提供した。 							【今年度の実施状況】 生涯学習センター内に設置の掲示板に、各生涯学習団体の講座のチラシやポスターを掲示し、学習情報の発信を行った。	【次年度の方向性】 継続して、生涯学習センター内に設置している掲示板でのチラシやポスターなどの学習情報の提供等を行う。
	学習相談	相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。	全市民	通年	随時	令和5年度実績内訳（：件）							
					来館	電話	FAX	Eメール	その他	合計	簡易問い合わせ	【今年度の実施状況】 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行っている。	【次年度の方向性】 継続的に相談者のニーズに応じた適切な対応を行い、学習相談や悩みの解決を支援していく。
					10	25	0	0	0	35	0		

令和5年度講座実績数内訳

区分	事業数				参加者数	
	講座数	実施回数				
成人対象事業		講座		回		人
シニア対象事業	3	講座	8	回	137	人
青少年対象事業	1	講座	2	回	36	人
子育て対象事業	1	講座	2	回	16	人
計	5	講座	12	回	189	人

()

について

令和●年度生涯学習センター事業実施報告書

(令和 年 月 日 () 時点)

生涯学習課

目次

中央生涯学習センター	●
東生涯学習センター	●
西生涯学習センター	●
南生涯学習センター	●
北生涯学習センター	●
平石生涯学習センター	●
清原生涯学習センター	●
横川生涯学習センター	●
瑞穂野生涯学習センター	●
城山生涯学習センター	●
国本生涯学習センター	●
富屋生涯学習センター	●
豊郷生涯学習センター	●
篠井生涯学習センター	●
姿川生涯学習センター	●
雀宮生涯学習センター	●
上河内生涯学習センター	●
河内生涯学習センター	●

基本方針

★：令和●年度新規事業、◎：令和●年度重点事業、【Vスタッフ】：Vスタッフ企画運営講座、【CKP】：地域かがやきプロジェクト

重点項目	事業名	事業の概要				令和●年度事業実績・評価・今後の方針		
		内容	対象	時期	回数	事業実績	評価	今後の方針
①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
②家庭教育活動の充実と学校や地域と連携・協力した					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	
					【実施日】 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回 【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人	【今年度の実施状況】	【次年度の方針】	

重点項目	事業名	事業の概要				令和●年度事業実績・評価・今後の方針			
		内容	対象	時期	回数	事業実績		評価	今後の方針
② 家庭・教育支援の充実と学校や地域の推進						【実施日】 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】
						【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回			
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人			
						令和●年度活動事例		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】
③ 地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実						【実施日】 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】
						【連携実績】 連携実績数 【連携団体等名称（企業・学校含む）】 回			
						【参加者数】 合計 うち子ども 主な世代 人 人			
						中学校区 実施委員数 実施委員会 実施回数 各地域の取り組み		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】
						● ● ● 人 回			
						出展団体数 のべ来場者数 特色 団体 人		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】
						令和●年度活動事例		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】
						令和●年度実績 内訳（件） 来館 電話 FAX Eメール その他 合計 無料問い合わせ		【今年度の実施状況】	【次年度の方針性】

令和●年度講座実績数内訳

区分	事業数			参加者数	
	講座数	実施回数			
子育て対象事業	講座	回			人
シニア対象事業	講座	回			人
成人対象事業	講座	回			人
青少年対象事業	講座	回			人
計	0	0	0	0	人